JFEグループ

2026年度第2四半期決算
インベスターズ・ミーティング

2026年11月6日

JFEホールディングス株式会社 | 証券コード：5411

目次

1．業績ハイライト

2．2026年度 上期決算

3．2026年度 業績見通し

4．財務状況・株主還元

5．トピックス

参考資料①　JFEグループ長期ビジョン「JFEビジョン2035」、第8次中期経営計画関連データ
参考資料②　財務関連データ・損益分析他
参考資料③　事業環境指標他
参考資料④　用語・略語一覧
参考資料⑤　発行資料（リンク集）

本資料は当社の2026年度上期の業績の状況について一般に公表するために作成された資料であり、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績ハイライト

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績ハイライト

事業環境

- 中国の過剰生産や各国の保護主義的な政策の影響等による厳しい状況は継続
- 原料炭、原油市況上昇等によるコスト増については、販売価格への転嫁を進める

千葉豪雨・台風影響（一過性）

- 8月千葉豪雨、および9月台風25号により
  生産影響は、▲70万t程度（9月25日公表より▲10万t影響拡大）
  事業利益への影響は、▲500億円/年（数量影響▲250、コスト▲250）の見込み

上期決算・業績見通し

- インド事業等の収益貢献あるものの、千葉豪雨・台風影響、原油市況上昇等により、対前回公表から悪化
  （ 中東情勢の影響▲700億円/年（対前回公表▲100億円/年）WTI原油価格＄90/bbl程度で織り込み ）
- 上期決算は、事業利益767億円（対前回公表▲133億円）
- 年度業績見通しは、**事業利益1,950億円（対前回公表▲200億円）**
  当期利益1,300億円（対前回公表▲200億円） ROEは5%程度の見込み

株主還元

- 年間配当は、第8次中期経営計画で掲げた配当方針どおり、**1株当たり80円**（中間配当40円）の見通し

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績ハイライト

			対前年同期	対前回公表
2026年度 上期決算 単独粗鋼量 1,031万t 為替 160.5円/$	事業利益	767億円	+310億円	▲133億円
	※棚卸資産評価差等除き	[447億円]	[▲490億円]	[▲153億円]
	セグメント利益	608億円	+267億円	▲92億円
	※棚卸資産評価差等除き	[288億円]	[▲533億円]	[▲112億円]
			対前年度	対前回公表
2026年度 見通し 単独粗鋼量 2,080万t 程度 為替 160円/$ 程度 （下期160円/＄程度）	事業利益	1,950億円	+597億円	▲200億円
	※棚卸資産評価差等除き	[1,250億円]	[▲413億円]	[▲600億円]
	セグメント利益	1,550億円	+445億円	▲200億円
	※棚卸資産評価差等除き	[850億円]	[▲565億円]	[▲600億円]
	当期利益	1,300億円	+599億円	▲200億円
	ROE	5%程度	+2%程度	▲1%程度
	年間配当	80円 （中間配当40円）	±0円	前回公表通り
第8次中期 経営計画（2027年度）	事業利益	4,000億円		
	ROE	少なくとも10%		
	年間配当	配当性向30%程度 但し、80円下限		
「JFEビジョン2035」（2035年度）	事業利益	7,000億円		

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEグループ
2026年度 上期決算

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度 上期決算

- 2026年度上期事業利益は**767**億円（対前年同期＋310億円、対前回公表▲133億円）
  ※棚卸資産評価差等除き **447**億円（対前年同期▲490億円、対前回公表▲153億円）

（億円）	2025年度 上期実績	2026年度 上期見通し（前回）	2026年度 上期実績	増減（対前年同期）	増減（対前回公表）
売上収益	22,326	23,800	24,004	＋1,678	＋204
事業利益	**457**	**900**	**767**	**＋310**	**▲133**
※棚卸資産評価差等除き	**[937]**	**[600]**	**[447]**	**[▲490]**	**[▲153]**
金融損益	▲115	▲200	▲158	▲43	＋42
セグメント利益	**341**	**700**	**608**	**＋267**	**▲92**
※棚卸資産評価差等除き	**[821]**	**[400]**	**[288]**	**[▲533]**	**[▲112]**
個別開示項目	-	150	98 *	+98	▲52
税引前利益	341	850	706	＋365	▲144
税金費用・非支配持分帰属当期利益	▲74	▲200	▲168	▲94	＋32
当期利益	**266**	**650**	**537**	**＋271**	**▲113**

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの
※金額は億円未満を切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります

*土地売却益150億円
災害による損失▲52億円（千葉豪雨・台風による設備復旧費用等）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度 上期決算　セグメント別

（億円）	2025年度 上期実績	2026年度 上期見通し（前回）	2026年度 上期実績	増減（対前年同期）	増減（対前回公表）
鉄鋼事業	15,374	16,400	15,856	+482	▲544
エンジニアリング事業	2,870	2,900	3,052	+182	+152
商社事業	6,475	7,000	7,781	+1,306	+781
調整額	▲2,394	▲2,500	▲2,686	▲292	▲186
売上収益　計	**22,326**	**23,800**	**24,004**	**+1,678**	**+204**
事業利益（A）	**457**	**900**	**767**	**+310**	**▲133**
※棚卸資産評価差等除き	**[937]**	**[600]**	**[447]**	**[▲490]**	**[▲153]**
金融損益（B）	▲115	▲200	▲158	▲43	+42
鉄鋼事業	▲53	300	158	+211	▲142
※棚卸資産評価差等除き	[427]	[0]	[▲162]	[▲589]	[▲162]
エンジニアリング事業	126	130	150	+24	+20
商社事業	219	225	242	+23	+17
調整額	48	45	56	+8	+11
セグメント利益　　計 (A) + (B)	**341**	**700**	**608**	**+267**	**▲92**
※棚卸資産評価差等除き	**[821]**	**[400]**	**[288]**	**[▲533]**	**[▲112]**

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの
※金額は億円未満を切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

千葉地区における豪雨および台風の影響について（一過性）

- **26年8月13日の線状降水帯に伴う千葉豪雨**による冠水の影響により、一部の設備で操業を停止。
  復旧作業を続ける中、
  26年9月21日の台風25号に伴う大雨により新たな被害が発生し、生産への影響は長期化

収益影響

- **粗鋼減産影響は、▲70万t程度**（9月25日公表より▲10万t（▲60→▲70））
- **事業利益への影響は、▲500億円**の見込み

	上期	下期	年間
粗鋼量 (万t)	▲50	▲20	▲70
数量影響	▲150	▲100	▲250
コスト影響	▲100	▲150	▲250
事業利益 影響（億円）	▲250	▲250	▲500

- 粗鋼減▲70万t（2,150程度→2,080程度）

- 生産性の低下に伴うコスト増等（原料・エネルギー等）
- お客様への供給影響を最小限に抑えるためのデリバリー対応費用等

（外数）個別開示項目：災害による損失▲52億円（千葉豪雨・台風による設備復旧費用等）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度上期　前回→今回　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2026年度 上期（前回）	2026年度 上期 実績
単独 粗鋼生産量	万t	1,080程度	1,031
単独 出荷量	万t	940程度	908
鋼材 平均価格	千円/t	129程度	129.1
為替レート	円/ﾄﾞﾙ	160程度	160.5

（億円）	2026年度 上期（前回）	2026年度 上期 実績	増減
セグメント利益	300	158	▲142
＊棚卸資産評価差等除き	0	▲162	▲162

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+88

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲250	・数量▲150（粗鋼減産▲50万t）、コスト▲100
②コスト	+10	・操業改善他
③数量・構成	±0	
④スプレッド*	+20	中東情勢のコスト影響変化なし
⑤棚卸資産評価差等	+20	・棚卸資産評価差　+60 (+240→+300) ・キャリーオーバー影響　▲10 (+ 50→ + 40) ・為替換算差　▲30 (+ 10→ ▲ 20)
⑥その他	+58	・Gr会社 +20（国内+30、海外▲10（インド▲10）） ・その他 +38

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2025年度上期→2026年度上期　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2025年度 上期 実績	2026年度 上期 実績
単独 粗鋼生産量	万t	1,080	1,031
単独 出荷量	万t	953	908
鋼材 平均価格	千円/t	119.8	129.1
為替レート	円/ﾄﾞﾙ	146.2	160.5

（億円）	2025年度 上期 実績	2026年度 上期 実績	増減
セグメント利益	▲53	158	+211
＊棚卸資産評価差等除き	427	▲162	▲589

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+88

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲250	・数量▲150（粗鋼減産▲50万t）、コスト▲100
②コスト	+210	・操業改善、設備投資効果他
③数量・構成	+70	・高付加価値品拡大等
④スプレッド*	▲640	・国内外の鋼材市況低迷/主原料価格高騰 ・中東影響による諸コスト上昇 ・鋼材価格改善の取り組み
⑤棚卸資産評価差等	+800	・棚卸資産評価差　+720（▲420→+300） ・キャリーオーバー影響　+70（▲ 30→ + 40） ・為替換算差　+10（▲ 30→ ▲ 20）
⑥その他	+21	・Gr会社 +110（国内▲10、海外+120（インド+140）） ・その他 ▲89（償却費、金利 他）

中東情勢のコスト影響▲300程度（Gr会社含む）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2025年度上期→2026年度上期　セグメント利益 増減

JFEエンジニアリング
JFE商事

JFEエンジニアリング

- 売上収益およびセグメント利益は、洋上風力モノパイル事業等の貢献により上期としては**過去最高**。
  セグメント利益は**150**億円（対前年同期+24億円、対前回公表+20億円）

（億円）	2025年度 上期実績	2026年度 上期見通し（前回）	2026年度 上期実績	増減 （対前年同期）	増減 （対前回公表）
受注高	3,630	2,900	3,097	▲533	+197
売上収益	2,870	2,900	3,052	+182	+152
セグメント利益	126	130	150	+24	+20

JFE商事

- 米国を中心とする国内外の鋼材市況上昇等により増収増益。
  セグメント利益は**242**億円（対前年同期+23億円、対前回公表+17億円）

（億円）	2025年度 上期実績	2026年度 上期見通し（前回）	2026年度 上期実績	増減 （対前年同期）	増減 （対前回公表）
売上収益	6,475	7,000	7,781	+1,306	+781
セグメント利益	219	225	242	+23	+17

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEグループ
2026年度 業績見通し

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度 業績見通し

- 年間見通しは、事業利益 **1,950**億円（対前年度＋597億円、対前回公表▲**200**億円）、
  当期利益 **1,300**億円（対前年度＋599億円、対前回公表▲**200**億円）を見込む

(億円)	2025年度 実績			2026年度 見通し(前回)			2026年度 見通し(今回)			増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間	年間
売上収益	22,326	23,066	45,392	23,800	24,700	48,500	24,004	24,996	49,000	＋3,608	＋500
事業利益	**457**	**896**	**1,353**	**900**	**1,250**	**2,150**	**767**	**1,183**	**1,950**	**＋597**	**▲200**
※棚卸資産評価差等除き	**[937]**	**[726]**	**[1,663]**	**[600]**	**[1,250]**	**[1,850]**	**[447]**	**[803]**	**[1,250]**	**[▲413]**	**[▲600]**
金融損益	▲115	▲132	▲247	▲200	▲200	▲400	▲158	▲242	▲400	▲153	0
セグメント利益	**341**	**764**	**1,105**	**700**	**1,050**	**1,750**	**608**	**942**	**1,550**	**＋445**	**▲200**
※棚卸資産評価差等除き	**[821]**	**[594]**	**[1,415]**	**[400]**	**[1,050]**	**[1,450]**	**[288]**	**[562]**	**[850]**	**[▲565]**	**[▲600]**
個別開示項目	0	▲231	▲231	150	0	150	98*	2	100	＋331	▲50
税引前利益	341	533	874	850	1,050	1,900	706	944	1,650	＋776	▲250
税金費用・非支配持分帰属当期利益	▲74	▲98	▲172	▲200	▲200	▲400	▲168	▲182	▲350	▲178	＋50
当期利益	**266**	**435**	**701**	**650**	**850**	**1,500**	**537**	**763**	**1,300**	**＋599**	**▲200**

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの
※金額は億円未満を切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります

*土地売却益150億円
災害による損失▲52億円（千葉豪雨・台風による設備復旧費用等）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度 業績見通し　セグメント別

(億円)	2025年度 実績 上期	2025年度 実績 下期	2025年度 実績 年間	2026年度 見通し(前回) 年間	2026年度 見通し(今回) 上期	2026年度 見通し(今回) 下期	2026年度 見通し(今回) 年間	増減 (対前年度) 年間	増減 (対前回公表) 年間
鉄鋼事業	15,374	15,510	30,884	33,500	15,856	17,344	33,200	+2,316	▲300
エンジニアリング事業	2,870	3,127	5,997	6,200	3,052	3,448	6,500	+503	+300
商社事業	6,475	6,855	13,330	14,000	7,781	7,319	15,100	+1,770	+1,100
調整額	▲2,394	▲2,425	▲4,819	▲5,200	▲2,686	▲3,114	▲5,800	▲981	▲600
売上収益　計	**22,326**	**23,066**	**45,392**	**48,500**	**24,004**	**24,996**	**49,000**	**+3,608**	**+500**
事業利益（A）	**457**	**896**	**1,353**	**2,150**	**767**	**1,183**	**1,950**	**+597**	**▲200**
※棚卸資産評価差等除き	**[937]**	**[726]**	**[1,663]**	**[1,850]**	**[447]**	**[803]**	**[1,250]**	**[▲413]**	**[▲600]**
金融損益（B）	▲115	▲132	▲247	▲400	▲158	▲242	▲400	▲153	0
鉄鋼事業	▲53	433	380	1,000	158	642	800	+420	▲200
※棚卸資産評価差等除き	[427]	[263]	[690]	[700]	[▲162]	[262]	[100]	[▲590]	[▲600]
エンジニアリング事業	126	113	239	250	150	100	250	+11	0
商社事業	219	183	402	450	242	228	470	+68	+20
調整額	48	36	84	50	56	▲26	30	▲54	▲20
セグメント利益　計 (A) + (B)	**341**	**764**	**1,105**	**1,750**	**608**	**942**	**1,550**	**+445**	**▲200**
※棚卸資産評価差等除き	**[821]**	**[594]**	**[1,415]**	**[1,450]**	**[288]**	**[562]**	**[850]**	**[▲565]**	**[▲600]**

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの
※金額は億円未満を切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

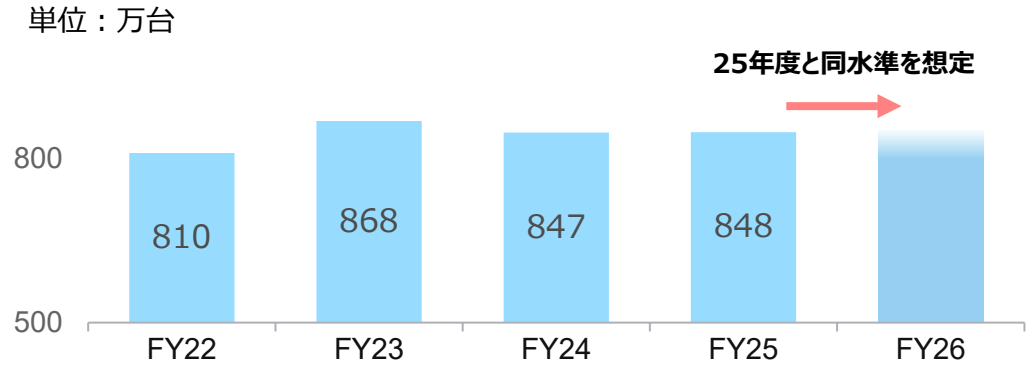
JFEスチール
2026年度 業績見通し

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

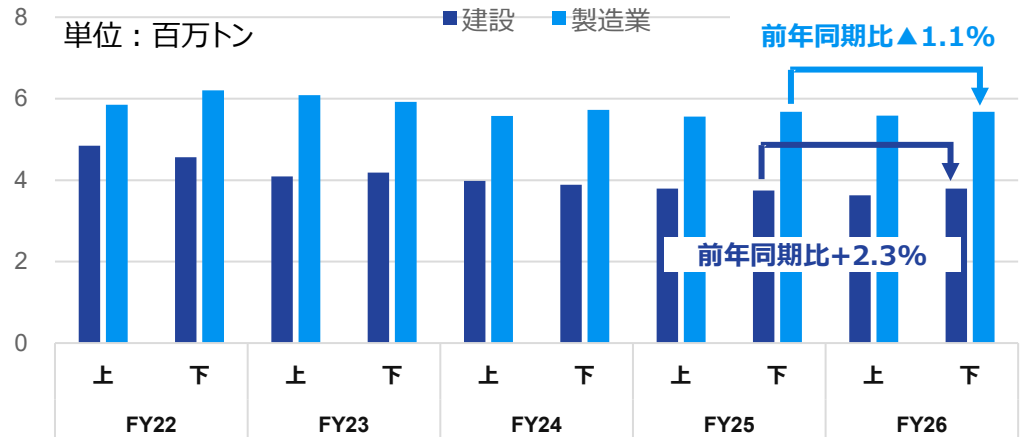
足元の事業環境認識（国内鋼材需要）

- 25年度に対し**総じて横ばいを想定（前回公表からの大きな変化なし）**
- 産機など**一部分野においては緩やかな回復基調を見込む**

自動車生産台数見通し/年



国内普通鋼 鋼材消費見通し/Q



出典：経産省　10月15日発表　254Q以降は推実
建設：建築、土木 の合計
製造業：造船、自動車、産業機械、電気機械、二次製品、容器、その他 の合計

分野別動向

自動車	• 米国の自動車関税は日米合意に基づく15%で定着しており、各自動車会社は対米輸出台数を維持しているものの、関税負担が継続している状況。 • 中東情勢を受けた減産なども発生しており、今後の動向を引き続き注視。 • 26年度の国内完成車生産は**おおむね前年同水準見込み。**
造船	• 引き続き堅調な需要環境にあり、国内造船各社は**約3年分を超える受注残を確保**。 • 政府の「造船業再生ロードマップ」公表を契機に、能力増強や生産性向上投資に向けた機運が高まっている一方、人手不足や建造工程の長期化といった課題は残存し、生産拡大は段階的なものに留まる見通し。
その他製造業	（建機） • 米国を中心としたインフラ関連需要やデータセンター建設需要が下支えとなる一方、国内および中国市場の低迷や資源価格動向の影響は継続。 （産機） • 人手不足対応やDX投資等、企業の高水準の設備投資意欲を背景に、全般としては底堅い需要環境が継続し、**緩やかな回復基調を見込む。**
建築	• 地域や分野によっては動きが見られるも、人手不足や資材費上昇等から**伸び悩みが見られる。**
土木	• 引き続き高水準の予算措置がなされているが、各種コストの上昇や人手不足等の影響を受け、**実質的な活動水準や鋼材需要は前年同期比横ばいにとどまる見込み。**

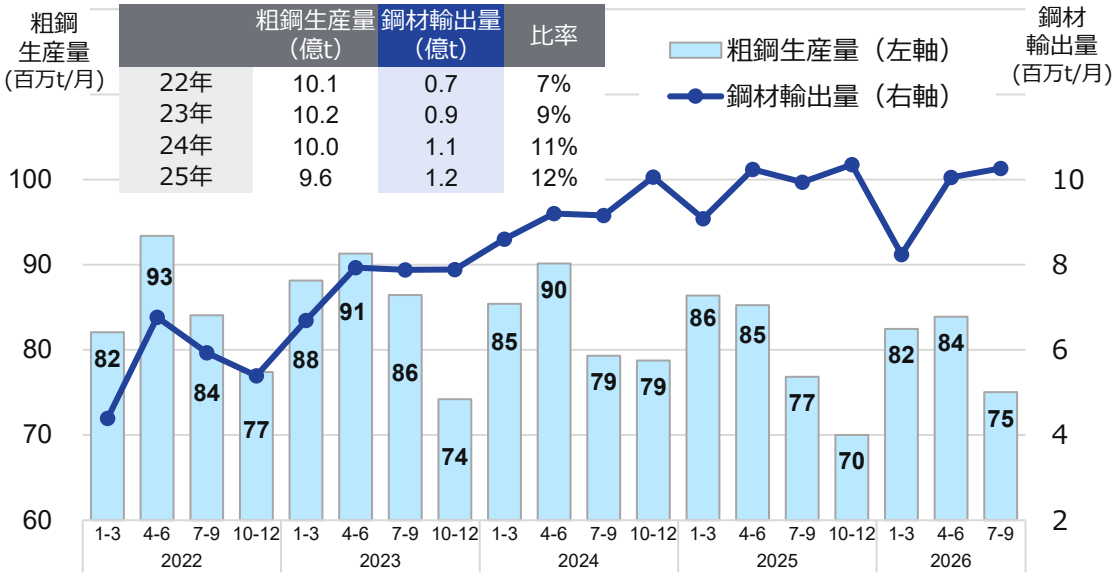
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

足元の事業環境認識（海外鋼材需要）

- 世界全体の鉄鋼需要は**前回公表から大きな変化なし**、中国の内需低迷・高位生産・輸出増の構図は継続
- 通商問題に加え、**中東情勢の緊張継続が鋼材需給・市況へのリスク要因**

中国　粗鋼生産・鋼材輸出量

	粗鋼生産量（億t）	鋼材輸出量（億t）	比率
22年	10.1	0.7	7%
23年	10.2	0.9	9%
24年	10.0	1.1	11%
25年	9.6	1.2	12%



実質GDP成長率見通し

	2025年暦年	2026年暦年（今回）	2026年暦年（前回）
米国	2.1%	2.3%	2.3%
中国	5.0%	4.5%	4.6%
インド	7.8%	7.0%	6.4%
ASEAN-5*	4.5%	4.4%	4.1%
世界平均	3.5%	3.1%	3.0%

出典：IMF　World Economic Outlook Update 26/10公表
*ASEAN5：　ﾀｲ･ﾏﾚｰｼｱ･ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ･ﾌｨﾘﾋﾟﾝ･ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ

分野別動向

薄板

- 世界的な**鋼材需要は底打ちしつつあるものの、本格回復には至らず**。
- 中国は内需低迷が継続。輸出量は依然高水準であり、ASEANや南アジアなどの市況への影響は継続。
- 各国で貿易救済措置や輸入規制が拡大、中国材の第三国経由流入などの動向を含め、市況環境を継続して注視必要。

自動車

- 新エネルギー車（NEV）の販売拡大が続き、**中国では輸出拡大**が生産を下支えする一方で**中国内需は減速の兆候**が見られる。
- **インドでは高い経済成長と内需拡大を背景に需要が増加。**
- 米国を中心とした関税・通商政策の動向、インフレや景気減速による消費マインド悪化などが下振れリスク要因として残存。

造船

- 老朽船代替や環境対応船需要を背景に、**新造船需要は引き続き堅調。**
- 中国造船所は旺盛な受注を背景に世界シェアをさらに拡大、当面は中国優位の構図が続く見通し。
- 日本や韓国でも政府主導による造船業支援や競争力強化策が本格化し、**中長期的な建造能力回復に向けた取り組みが活発化**。

エネルギー

- 中東情勢は前回対比では落ち着きを取り戻しつつあるものの、依然として地政学リスクは残存し、各種コストの変動要因となっている。
- エネルギー安全保障確保の重要性は引き続き高く、エネルギー関連鋼材需要は**中長期的に堅調に推移する見通し**。

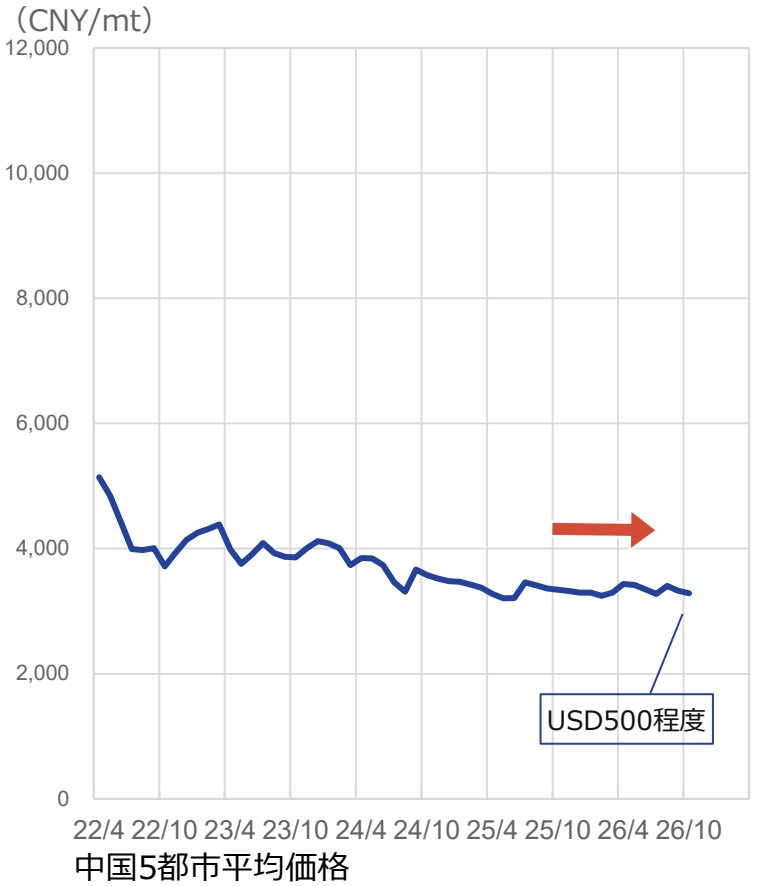
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

足元の事業環境認識（海外鋼材市況）

- 各国の鋼材市況（熱延価格）推移

中国鋼材市況

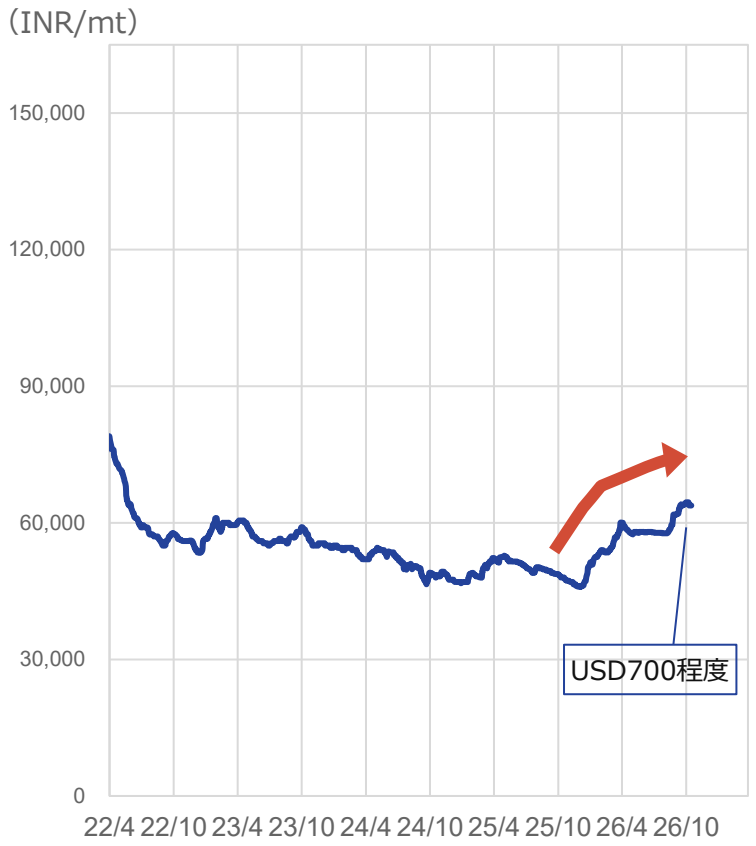
・内需は不動産分野を中心に力強さを欠く需要環境が継続



中国5都市平均価格

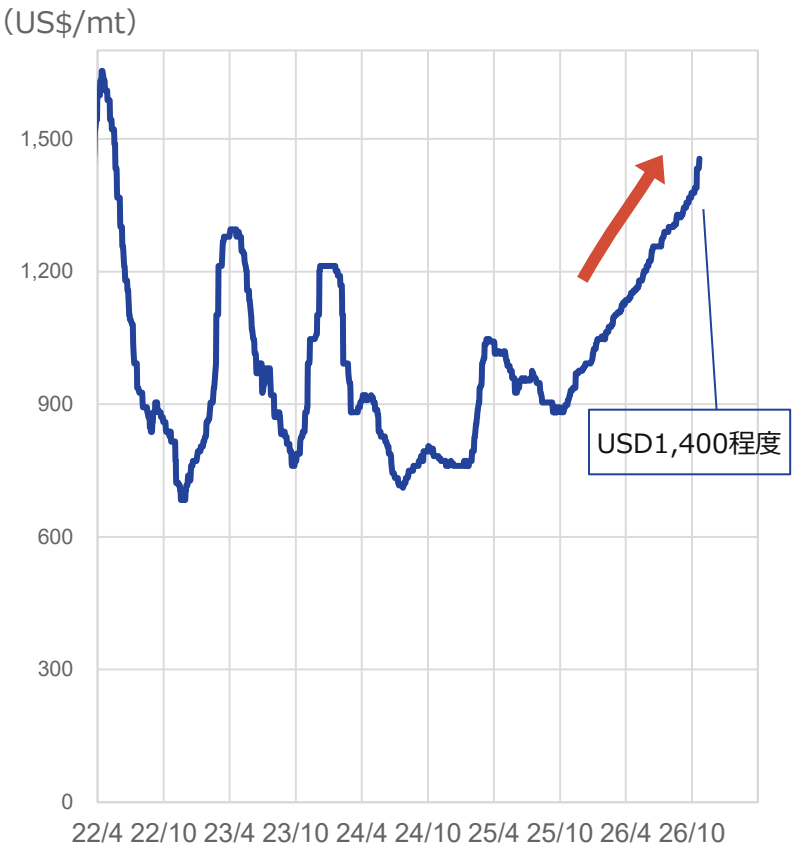
インド鋼材市況

・インド政府によるセーフガード関税等の輸入防衛策を背景に価格上昇



米国鋼材市況

・25年からの輸入関税導入により価格上昇



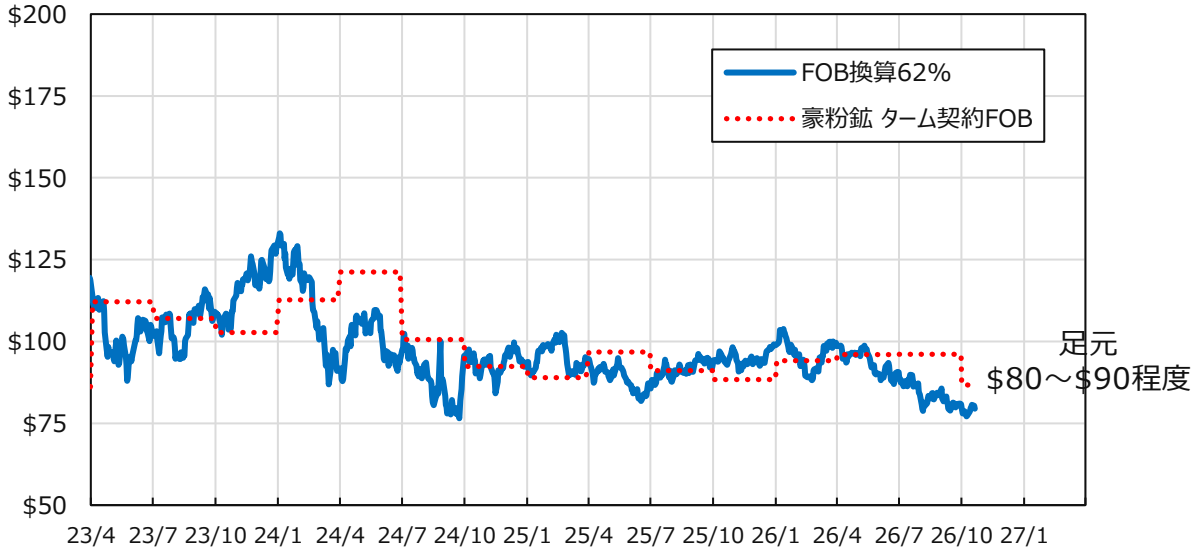
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

原料市況動向

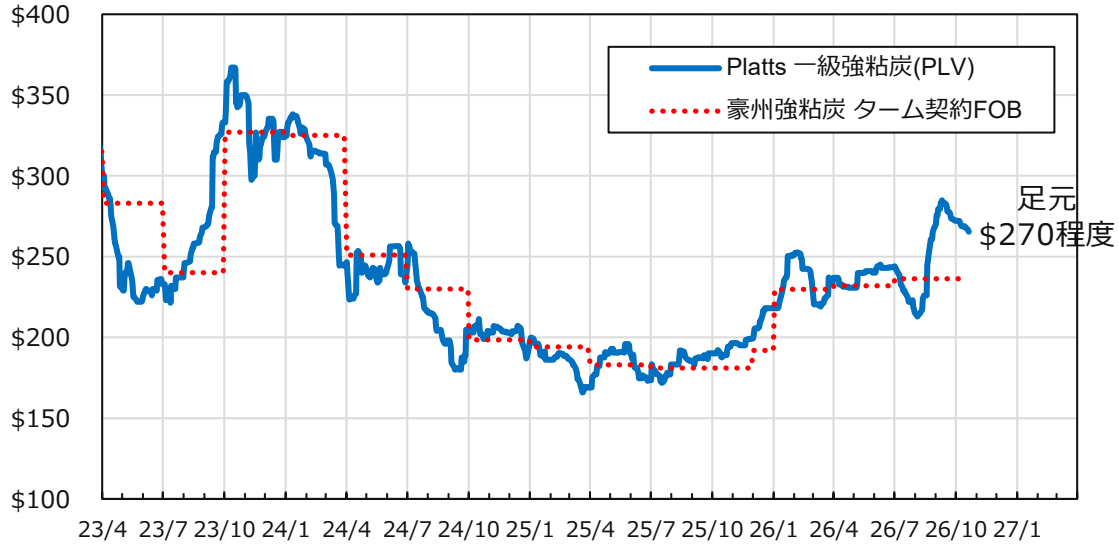
JFEスチール

- 鉄鉱石：需給環境に大きな変化なく、当面は**足元価格水準（FOB$80～$90程度）で推移**と想定
- 原料炭：中国での炭鉱事故が相次ぎ8月以降スポット市況が上昇。中国国内の生産が早期に回復することは見通しにくく、当面は**足元価格水準（FOB$270程度）で推移**と想定

鉄鉱石（豪州粉鉱） (US$/DMT)



原料炭（豪州強粘炭） (US$/WMT)



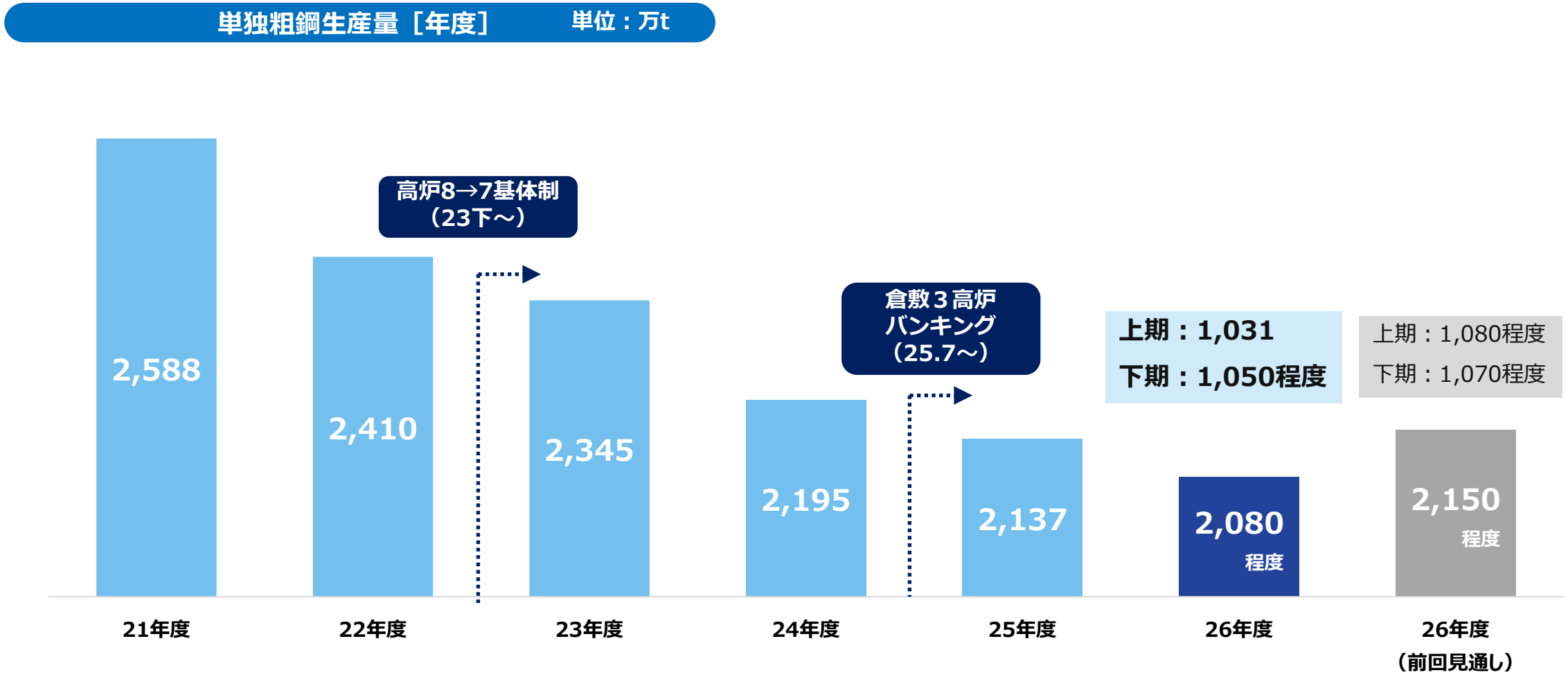
ターム契約FOB (US$/DMT)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2023年度	112	107	103	113
2024年度	121	101	92	89
2025年度	97	91	88	94
2026年度	96	96	87	-

ターム契約FOB (US$/WMT)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2023年度	283	240	327	325
2024年度	251	230	198	194
2025年度	183	181	192	230
2026年度	232	236	-	-

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

単独粗鋼生産量

- 千葉豪雨・台風影響（▲70万t）により、26年度単独粗鋼生産量は**2,080万t程度**の見込み
  （対前回公表▲70万t）

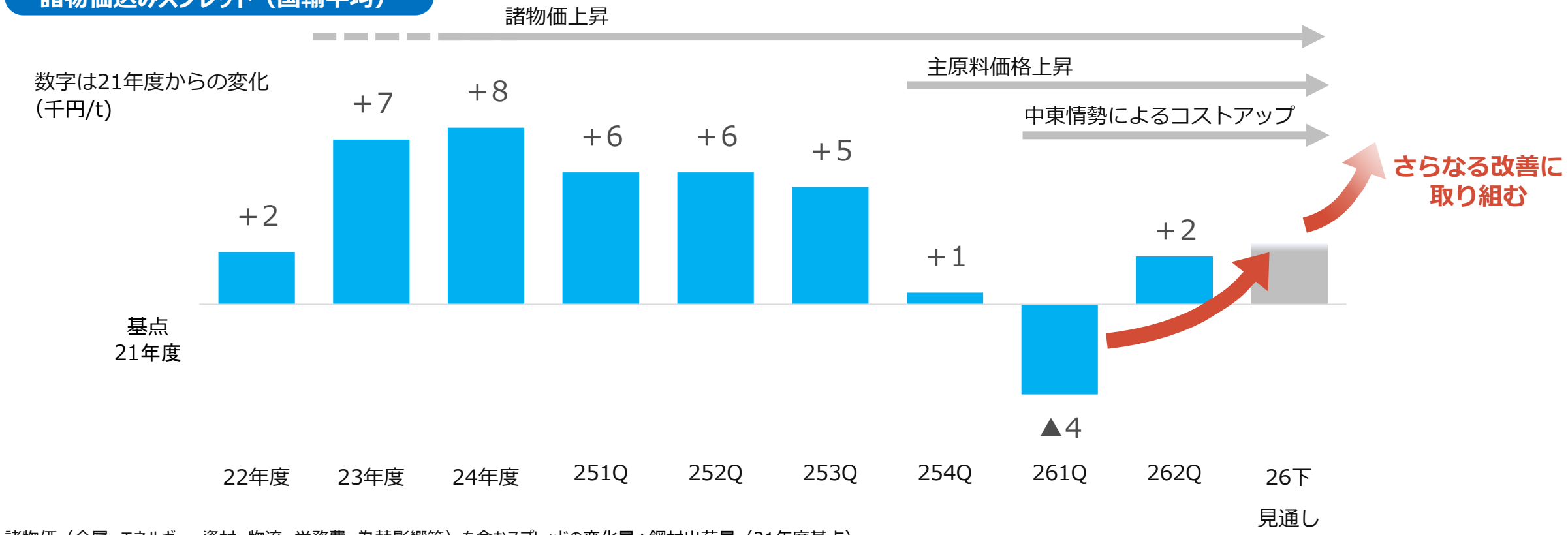


Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

販売価格改善の状況

- 主原料価格・諸物価上昇、中東情勢によるコストアップに対し鋼材販売価格の引き上げに取組中、**26年5月までに打ち出した値上げ（＋1.5万円/t）については全分野で達成**
- さらなる諸コスト上昇を受け9月に打ち出した**追加の+1.0万円/tについても早期の価格反映を目指す**
- 販価反映の時期差等により26年度下期の諸物価込みスプレッドは前回公表に対し悪化の見通し

諸物価込みスプレッド（国輸平均）



諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッドの変化量÷鋼材出荷量（21年度基点）

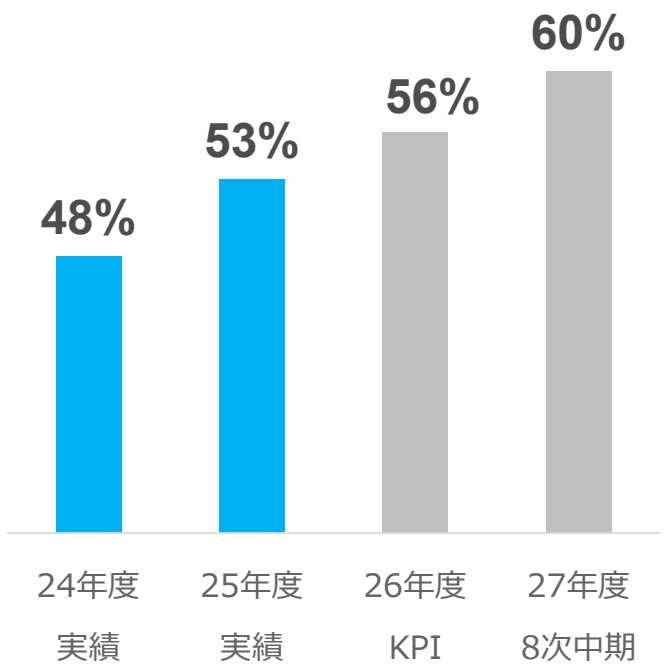
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

高付加価値品比率拡大

- 高付加価値品比率の25年度実績は53%。
- 26年度は倉敷電磁鋼板増強2期、洋上風力向け厚板拡販等で56%を目指す
- 比率はほぼ計画通りであるものの市況低迷や自動車電動化の遅れ等により、中期想定の効果には未達

高付加価値品比率 (*)

+400億円
（対24年度）



(*)高付加価値品：

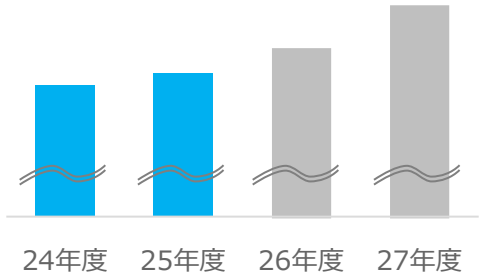
技術優位性を有し、お客様から付加価値を認められ、汎用品を上回る収益力を持つ商品（当社定義）

主な高付加価値品の数量推移

*縦軸のスケールは商品ごとに異なる

電磁鋼板（G/O）

・データセンター需要等，
国内外ともに需要は堅調



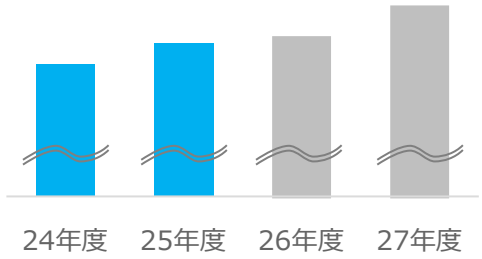
▼変圧器用電磁鋼板



ハイテン

2028年10月 予定
福山超ハイテン製造
CGL建設

・高強度,高機能ハイテンの
需要は今後も堅調に推移
・28年に新CGL建設予定



▼自動車用ハイテン

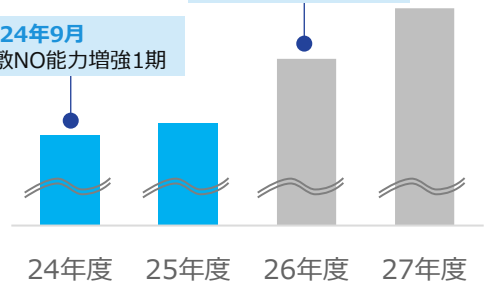


電磁鋼板（N/O）

・足元EV需要は鈍化するも
中長期的には拡大見込み
・26年度増強工事予定

2026年度 予定
倉敷NO能力増強2期

2024年9月
倉敷NO能力増強1期



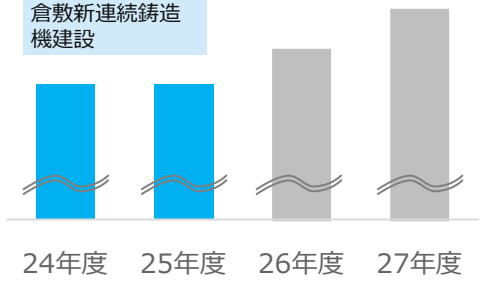
▼モーターコア用電磁鋼板



高付加価値厚板（含む洋上風力）

・国内秋田潟上PJが進行中
・海外案件引き合い多数

2021年6月
倉敷新連続鋳造
機建設



▼大単重厚板（洋上風力）



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEスチール　2026年度 業績見通し

	単位	2025年度							2026年度					2026年度前回見通し(年間)
		4-6月	7-9月	上期	10-12月	1-3月	下期	年間	4-6月	7-9月	上期	下期	年間	
売上収益	億円	7,612	7,762	15,374	7,738	7,772	15,510	30,884	7,635	8,221	15,856	17,344	33,200	33,500
セグメント利益	億円	▲121	68	▲53	286	147	433	380	30	128	158	642	800	1,000
棚卸資産評価差等除き*	億円	169	258	427	266	▲3	263	690	▲150	▲12	▲162	262	100	700
			—											
単独粗鋼生産量	万ｔ	528	552	1,080	532	525	1,057	2,137	525	506	1,031	1,050程度	2,080程度	2,150程度
連結粗鋼生産量	万ｔ	561	581	1,142	559	554	1,113	2,255	556	534	1,090			
単独鋼材出荷量	万ｔ	471	482	953	472	461	933	1,886	454	454	908			
鋼材輸出比率(単独・金額ﾍﾞｰｽ)	%	39.9	42.8	41.3	40.3	40.1	40.2	40.8	39.3	41.3	40.4			
鋼材平均価格	千円/ｔ	120.4	119.2	119.8	120.0	123.4	121.7	120.7	124.2	134.1	129.1			
為替レート	円/ﾄﾞﾙ	145.3	147.0	146.2	153.2	155.3	154.3	150.2	159.9	161.0	160.5	160程度	160程度	160程度
期末為替レート	円/ﾄﾞﾙ	144.8	148.9	148.9	156.6	159.9	159.9	159.9	162.4	157.4	157.4	160程度	160程度	160程度

＊セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリーオーバー、為替換算差等を除いた損益

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度 前回→今回　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2026年度 前回	2026年度 今回
単独 粗鋼生産量	万t	2,150程度	2,080程度
単独 出荷量	万t	-	-
鋼材 平均価格	千円/t	-	-
為替レート	円/ドル	160程度	160程度

（億円）	2026年度 前回見通し	2026年度 今回見通し	増減
セグメント利益	1,000	800	▲200
＊棚卸資産評価差等除き	700	100	▲600

・千葉豪雨・台風影響　▲500
・その他　+600

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲500	・数量▲250（粗鋼減産▲70万t）、コスト▲250
②コスト	±0	
③数量・構成	±0	
④スプレッド*	▲180	・原料物価変動の販価反映時期差 ・中東影響による諸コスト上昇
⑤棚卸資産評価差等	+400	・棚卸資産評価差　+320 (+300→+620) ・キャリーオーバー影響　+80 (▲ 10→ + 70) ・為替換算差　±0 (+ 10→ + 10)
⑥その他	+80	・Gr会社 +80（国内+20、海外+60（インド+50））

中東情勢のコスト影響▲100程度（Gr会社含む）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2025年度→2026年度　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2025年度 実績	2026年度 見通し
単独 粗鋼生産量	万t	2,137	2,080程度
単独 出荷量	万t	1,886	-
鋼材 平均価格	千円/t	120.7	-
為替レート	円/ﾄﾞﾙ	150.2	160程度

（億円）	2025年度 実績	2026年度 見通し	増減
セグメント利益	380	800	+420
＊棚卸資産評価差等除き	690	100	▲590

・千葉豪雨・台風影響　▲500
・その他　+600

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲500	・数量▲250（粗鋼減産▲70万t）、コスト▲250
②コスト	+370	・操業改善他
③数量・構成	+130	・高付加価値品拡大等
④スプレッド*	▲540	・国内外の鋼材市況低迷/主原料価格高騰 ・中東影響による諸コスト上昇 ・鋼材価格改善の取り組み
⑤棚卸資産評価差等	+1,010	・棚卸資産評価差　+1,080（▲460→+620） ・キャリーオーバー影響　▲20（+ 90→ + 70） ・為替換算差　▲50（+ 60→ + 10）
⑥その他	▲50	・Gr会社　+310（国内▲80、海外+390（インド+380）） ・その他　▲360（償却費、金利 等）

中東情勢のコスト影響▲700程度（Gr会社含む）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度上期→下期　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2026年度 上期実績	2026年度 下期見通し
単独 粗鋼生産量	万t	1,031	1,050程度
単独 出荷量	万t	908	-
鋼材 平均価格	千円/t	129.1	-
為替レート	円/ドル	160.5	160程度

（億円）	2026年度 上期実績	2026年度 下期見通し	増減
セグメント利益	158	642	+484
＊棚卸資産評価差等除き	▲162	262	+424

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+88

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+512

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	**±0**	• 数量+50、コスト▲50
②コスト	**+50**	• 操業改善他
③数量・構成	**+30**	• 高付加価値品拡大等
④スプレッド*	**+350**	• 鋼材価格改善の取り組み • 中東影響による諸コスト上昇 中東情勢のコスト影響▲100程度（Gr会社含む）
⑤棚卸資産評価差等	**+60**	• 棚卸資産評価差　+20 (+300→+320) • キャリーオーバー影響　▲10 (+ 40→ + 30) • 為替換算差　+50 (▲ 20→ + 30)
⑥その他	**▲6**	• Gr会社　+190（国内+70、海外+120（インド+120）） • その他　▲196（償却費、金利 等）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEエンジニアリング
2026年度 業績見通し

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEエンジニアリング　2026年度 業績見通し

事業環境/損益概況

- 受注高は、大型案件が集中した25年度（過去最高）からの減少を見込むが、**受注残高は引き続き高水準で推移**
- 洋上風力モノパイル事業をはじめとする受注済プロジェクトの着実な遂行により、セグメント利益は**250億円**を見込む（対前年度比＋11億円、**前回公表通り**）

受注高・受注残高推移



業績見通し

(億円)	25年度 実績 上期	25年度 実績 下期	25年度 実績 年間	26年度 見通し（前回） 上期	26年度 見通し（前回） 下期	26年度 見通し（前回） 年間	26年度 見通し（今回） 上期	26年度 見通し（今回） 下期	26年度 見通し（今回） 年間	増減（対前年度） 年間	増減（対前回） 年間
受注高	3,630	4,731	8,361	2,900	3,100	6,000	3,097	2,903	6,000	▲2,361	0
売上収益	2,870	3,127	5,997	2,900	3,300	6,200	3,052	3,448	6,500	+503	+300
セグメント利益	126	113	239	130	120	250	150	100	250	+11	0

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFE商事
2026年度 業績見通し

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFE商事　2026年度 業績見通し

事業環境/損益概況

- 米州事業の回復と国内鋼材価格の上昇により、
  年間のセグメント利益は**470**億円を見込む（対前年度比＋68億円、対前回公表＋20億円）

業績見通し

(億円)	25年度 実績			26年度 見通し（前回）			26年度 見通し（今回）			増減（対前年度）	増減（対前回）
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間	年間
売上収益	6,475	6,855	13,330	7,000	7,000	14,000	7,781	7,319	15,100	＋1,770	＋1,100
セグメント利益	219	183	402	225	225	450	242	228	470	＋68	＋20

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

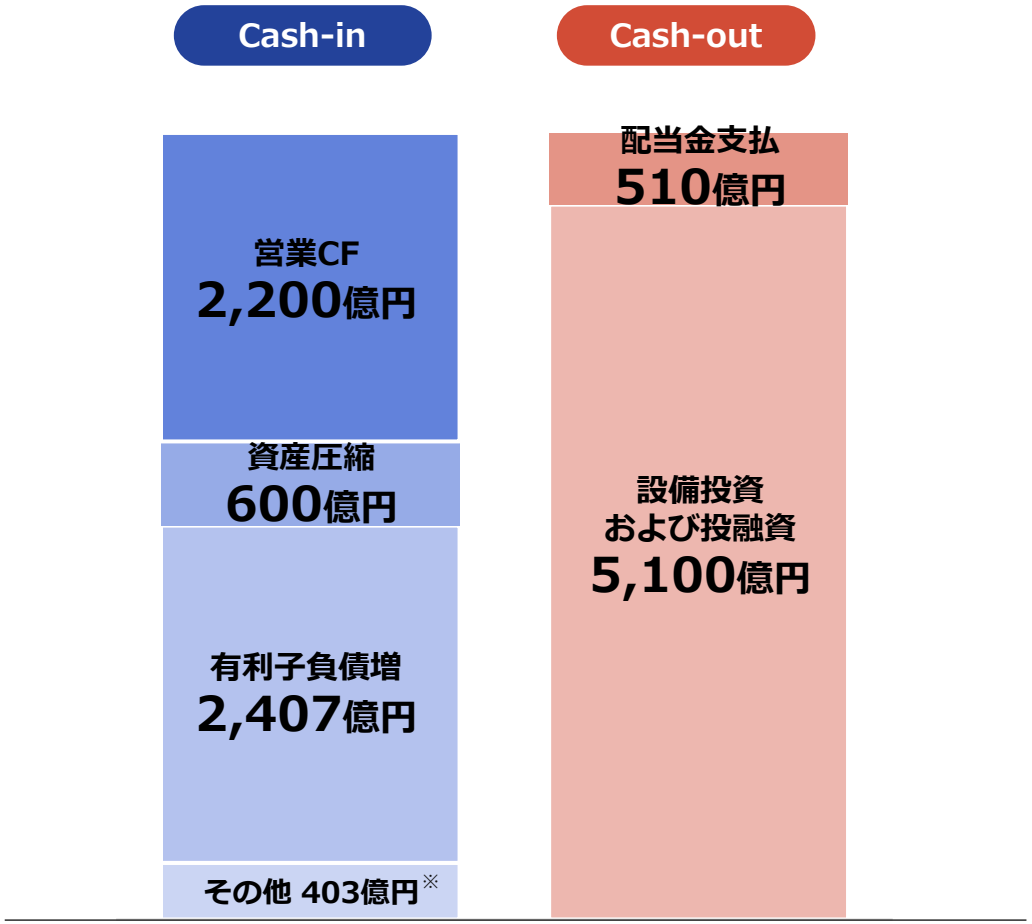
財務状況・株主還元

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

連結キャッシュフロー、Debt/EBITDA倍率

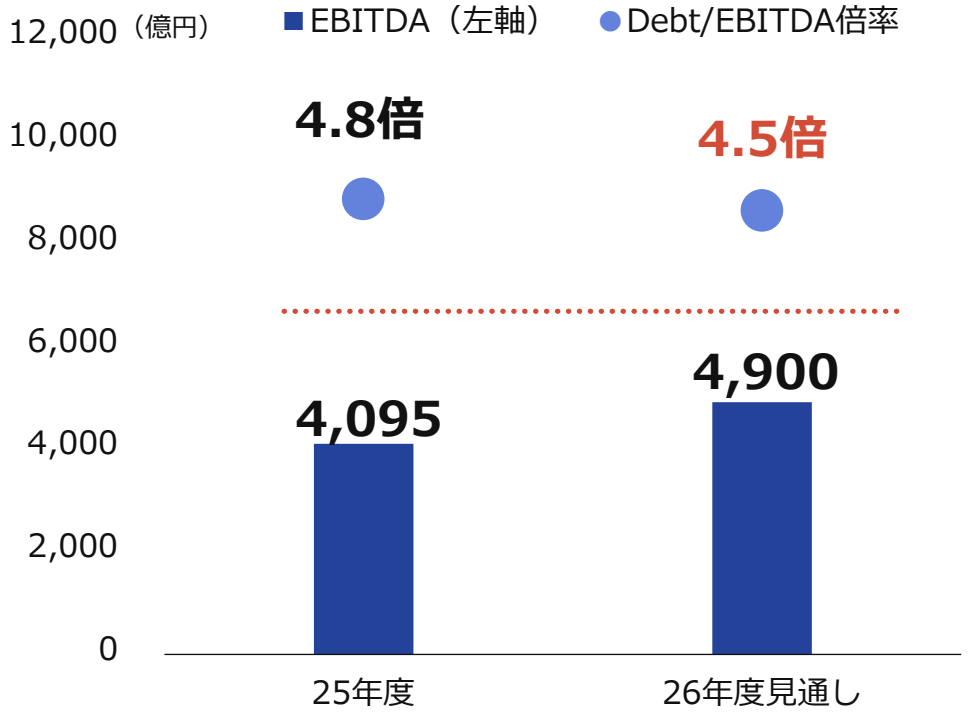
- 2026年度のDebt/EBITDA倍率は、**4.5**倍を見込む
- 千葉豪雨・台風影響による収支悪化に対し、投資計画の見直し、運転収支の改善、さらなる資産売却等を通じ、2027年度の財務目標達成に向けた取り組みを着実に進める。

連結キャッシュフロー（2026年度見通し）



※リース負債増減等

Debt/EBITDA倍率の推移



有利子負債残高	19,593億円	22,000億円
D/Eレシオ	59.4%	**66.0%**

財務目標（27年度）
- Debt/EBITDA **3倍程度**
- D/Eレシオ **60%程度**

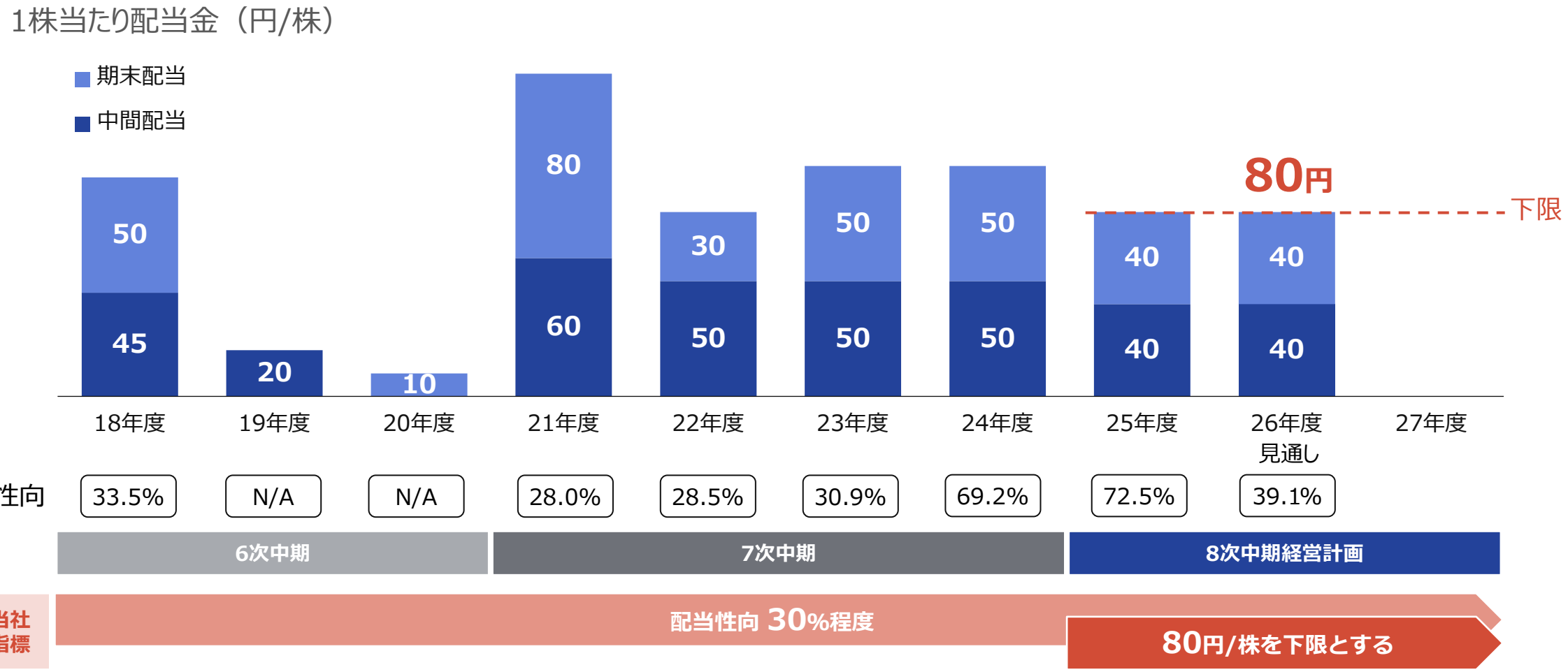
※ EBITDA＝事業利益＋減価償却費及び償却費
※ Debt/EBITDA倍率＝有利子負債残高/EBITDA
なお、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付け機関の評価により資本に算入

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

配当について

- 中間配当については、1株当たり40円（本日開催の取締役会において決議済）
- 年間配当については、**1株当たり80円の見通し**（8次中期経営計画方針(*)通り）

(*) 配当性向30%程度、但し、年間80円/株を下限とする



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

トピックス

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JJSL生産能力拡張を発表

- JJSLサンバルプル製鉄所の生産能力拡張を決定（26年10月23日公表）
- **2030年までに450万tから950万t/へ拡大**、高い成長が見込まれるインド事業の成長を取り込む
- 将来的には粗鋼生産能力1,500万t規模を見据える

拡張設備の概要

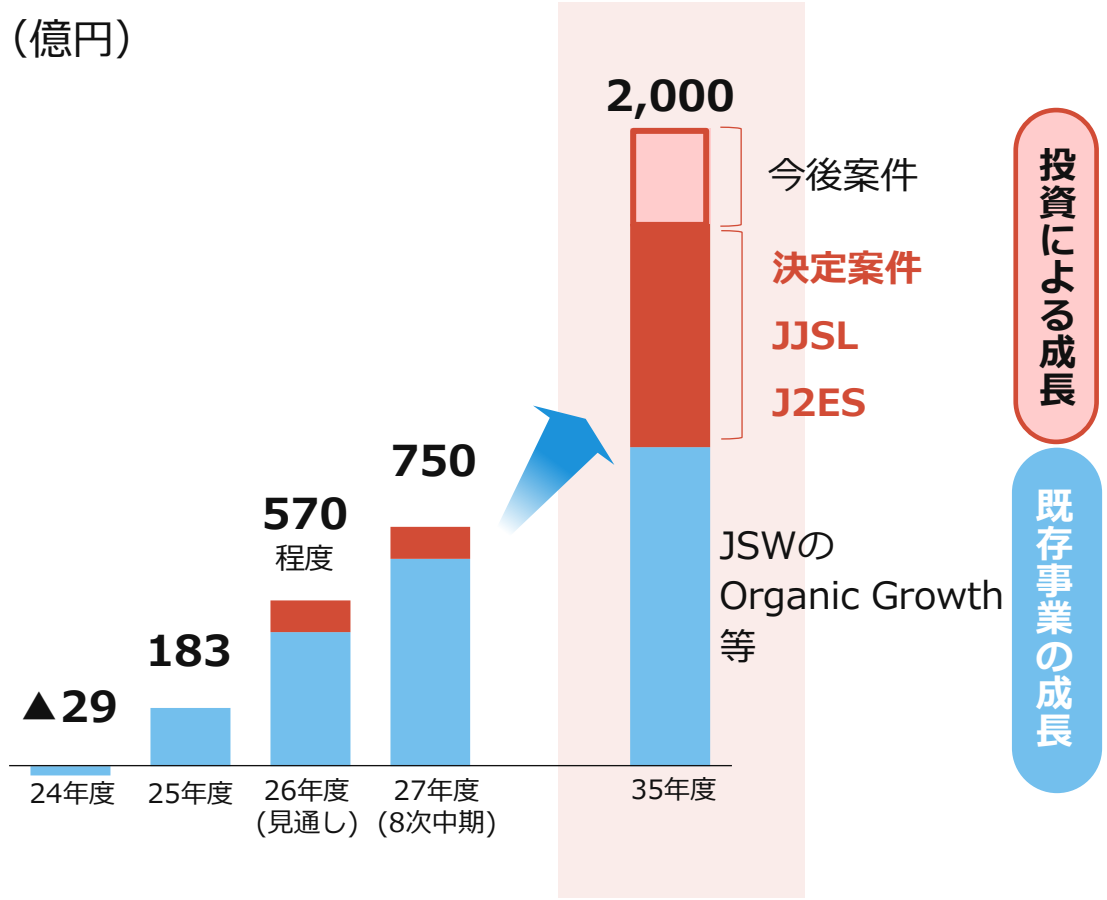
主要設備	基数	能力 (百万t/年)
高炉	1基	5
ペレットプラント	1基	8
コークスプラント	2炉団	2
転炉	2基	5
スラブ連鋳機	2基	
熱延	1基	5
酸洗・冷延ミル・CGL	各1基	0.6

稼働開始時期（予定）

2030年

＊ 資金調達は、JJSLの内部留保、金融機関からの借入および親会社の支援を組み合わせ、財務健全性を維持しながら実施する方針

海外事業収益



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFE商事 国内鉄鋼事業の強靭化に向けた取り組み

（26年11月6日公表）

- JFE商事鉄鋼建材とJFE商事鋼管管材を2027年4月1日付で統合
- 建築・土木・薄板建材分野および鋼管・管材分野の専門性や加工・物流機能を結集。
- 設計・企画から施工まで一貫した総合提案・販売体制を構築するとともに、事業運営を効率化。

国内事業基盤強化の取り組み（8次中期～）

2025年4月 **丸八鋼管、JFE商事鋼管管材グループへ**
東日本での鋼管の在庫・加工・販売機能強化

2025年11月 **三輪鉄建 新工場建設**
生産効率改善、現場の供給力強化

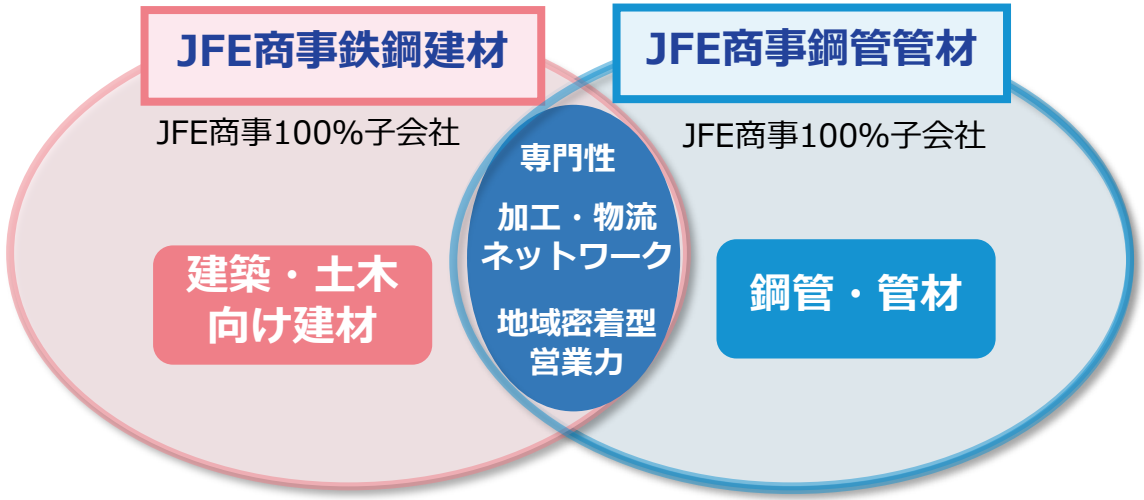
2026年6月 **新潟スチール 大型レベラー導入**
加工能力の大幅増強。短納期化・物流効率化

2026年12月（予定） **津熊鋼建、JFE商事鉄鋼建材グループへ**
関西における建材薄板事業の基盤強化

2027年4月（予定） **JFE商事鉄鋼建材・JFE商事鋼管管材の統合**
➡ **JFE商事スチールクロス発足**

新会社の概要

JFE商事スチールクロス



新会社売上：3,419億円
*2025年度実績合算（連結）

統合の効果

総合提案力の強化
品種の垣根を越え、設計・企画から施工まで一貫対応

事業運営の効率化
経営資源を有効活用

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

統合報告書・サステナビリティ報告書を発行

- 当社グループの取り組みをステークホルダーの皆様により深く理解していただくため、2026年度JFE GROUP REPORT （統合報告書）、JFEグループサステナビリティ報告書を発行

英語版は11月中発行予定

JFE GROUP REPORT （統合報告書）

成長戦略の観点から中長期的な価値創造ストーリーを紹介

今年度発行にあたっての重点ポイント

✓ **第8次中期経営計画の進捗**

CEO・CFOメッセージ、海外戦略（成長するインド市場での事業戦略等）、サーキュラーエコノミーへの取り組み

✓ **個別戦略（CN、DX戦略、人財戦略）**

CNの技術開発・投資の方向性、DX戦略、海外人材・高度DX人材等

✓ **社外取締役による座談会**

テーマ：ガバナンス体制強化の評価、８次中期初年度の成果　他



▽ダウンロードはこちら
JFEグループレポート2026

▽生成AIでの情報読み込み・解析には下記サイトの「AI向けファイル」をご活用ください
JFEグループレポートトップページ

▽ポイント紹介動画（約3分）
紹介動画

JFEグループサステナビリティ報告書

「環境」「社会」「ガバナンス」各側面の取り組み・データを網羅的に紹介

今年度発行にあたっての重点ポイント

✓ **第8次中期経営計画のサステナビリティ課題の進捗**

重要課題・KPIの進捗状況を新たに掲載

✓ **環境課題への統合的な取り組みの開示を充実**

環境投資における資本効率や経済合理性を重視する考え方を掲載

✓ **人財戦略、人権に関する最新の取り組みを掲載**

人権デューディリジェンスや人財戦略に関する具体的な取り組みを紹介



▽ダウンロードはこちら
JFEサステナビリティレポート2026

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料①

・JFEグループ長期ビジョン「JFEビジョン2035」
・第8次中期経営計画（2025～2027年度）
　関連データ

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

「JFEビジョン2035」・第8次中期経営計画

8次中期経営計画資料（再掲）

- JFEグループの目指す姿を示す、JFEグループ長期ビジョン**「JFEビジョン2035」**
- 目指す姿に向けた成長戦略推進のため、**第８次中期経営計画（2025-2027年度）**を策定（25年5月公表）

	第7次中期経営計画	第8次中期経営計画	「JFEビジョン2035」
経済的持続性	**●量から質への転換** • 構造改革完遂 • 高付加価値品比率の向上（50%） • 販売価格体系の見直し	**●国内生産体制の再構築** • 高付加価値品比率の向上（60%） • 国内生産体制・事業の再編	**●グループ事業利益増大（セグメント利益 7,000 億円）** • 成長戦略に基づいた**スリムで強靭な国内体制** - 競争優位性の源泉である技術・人材を創出 - 量から質への転換の深化、各事業の再編と統合 • **海外成長地域でインサイダー型事業拡大**による成長 - トップクラスのパートナーとの協業、M&A
経済的持続性	**●成長分野への投資促進** • 電磁鋼板製造・加工・流通 • リサイクル事業 • 洋上風力発電ビジネスへの参入	**●海外事業拡大** • 成長地域トップクラスのパートナーとのインサイダー型事業拡大	**●CNに向けた技術開発のトップランナー** • **超革新プロセス転換技術の開発完了** • 地球環境保全に貢献する高い技術力と多様なエコプロダクト群の提供 • 高品質な**グリーン鋼材市場におけるメインプレーヤー**
環境的社会的持続性	**●環境経営ビジョン2050の策定**	**●グリーン鋼材の開発と普及** • 超革新技術の開発（GI基金） • 革新電気炉(*)の建設 • グリーン鋼材の拡販	

（*）高品質・高機能鋼材が製造可能な高効率・大型の革新電気炉

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けた取り組み

● 企業価値の持続的な向上に向けて、**資本コストや株価を意識した経営**を推進。

収益力向上

- 鉄鋼
  - スリムで強靭な国内生産体制の再構築
  - 高付加価値品比率向上（60%）
- 商社
  - 海外成長分野・地域でのインサイダー型事業拡大
- エンジニアリング
  - WtRを中心とした運営型事業拡大、海外展開
  - CNビジネスの拡大
- 京浜土地活用
  - リソースを活かした安定収益の実現

BS最適化

- ノンコア事業の資産圧縮
- 成長投資・CN投資と財務健全性の両立

期待成長率向上

- 将来成長不安の払拭
  - 成長分野を中心とした投融資
  - 事業ポートフォリオの見直し
- 競争優位の創出力向上
  - 経営戦略を実現するための人財戦略
  - DXを通じたビジネス変革

株主資本コスト低減

- 安定的な株主還元
  - 配当性向30%程度、**80円/株を下限とする**（8次中期新規）
- CN対応懸念の払拭
  - 超革新技術開発の推進
  - グリーン市場の創出

ROE向上

株主資本コストを安定的に上回るROE

27年度目標 10%↑

改定 役員報酬制度を改定（ROE、相対TSRを指標化）

PER改善

市場からの信頼性向上

PBR向上

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

主要施策の取り組み状況

前回公表資料より一部加筆

案件				～24年	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年～	36年～
鉄鋼事業	国内		最適生産体制再構築 グループ含む		▼倉#3 一時休止（28年再稼働）	▼薄板事業再編(26/4公表) ▼形鋼事業再編(26/5公表)	▼福#4 休止	▼倉#2 休止（電炉転換）				
			高付加価値品戦略	▼倉新連鋳(7CC) ▼倉電磁増強(1期)		▼倉電磁増強(2期)		▼福CGL				
	海外	インド	電磁鋼板 J2ES/J2ES Nashik	▼J2ES Nashik 買収 5万t	▼増強投資決定	能力拡張工事	▼J2ES稼働15万t体制へ			▼能力拡張完了 35万t体制へ		
			一貫製鉄所運営 JJSL		▼合弁事業化450万t	設計・増強工事				▼950万t体制へ		
エンジニアリング事業					▼モノパイル製造開始							
商社事業				▼STUDCO/CEMCO買収		▼JSセルビア量産稼働						
京浜土地活用・事業利用				▼南渡田/扇町 売却	▼データセンター 事業基本合意締結	▼高度物流ゾーン 土地譲渡契約締結					▼データセンター (60MW)稼働	
					解体							
GX戦略						▼千 ステンレス電気炉稼働		▼倉 革新電気炉稼働				
					超革新技術の開発 / GXスチールの拡販							超革新技術の実装
DX戦略				▼JCSS設立	▼基幹システムオープン化 完了							
					インテリジェント製鉄所に向けた 一貫CPS拡充							

9次中期以降も既に意思決定済の投資案件が順次稼働

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

国内製鉄事業　最適生産体制再構築

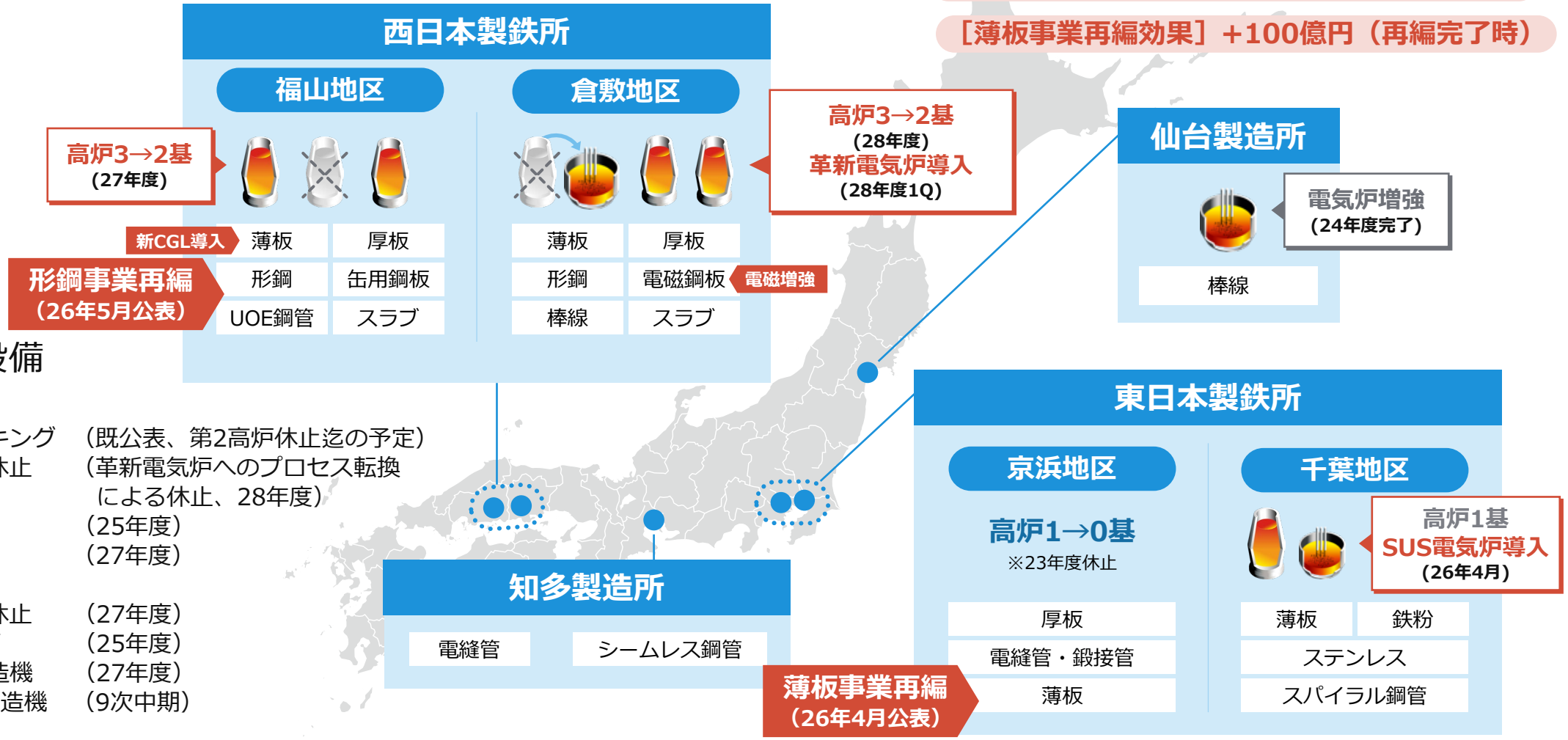
前回公表資料（再掲）

JFEスチール

- 高炉5基+革新電気炉1基体制に向けた諸施策を着実に実施
- 薄板事業再編（26年4月公表）、グループ形鋼事業再編（26年5月公表）による国内生産体制強靭化

［最適生産体制効果］+200億円（対24年度）

［薄板事業再編効果］+100億円（再編完了時）



- 休止予定設備

[倉敷地区]
- 第3高炉 ※バンキング　（既公表、第2高炉休止迄の予定）
- 第2高炉 ※完全休止　（革新電気炉へのプロセス転換による休止、28年度）
- コークス1B炉　（25年度）
- コークス4AB炉　（27年度）

[福山地区]
- 第4高炉 ※完全休止　（27年度）
- コークス4ABC炉　（25年度）
- ブルーム連続鋳造機　（27年度）
- 第4スラブ連続鋳造機　（9次中期）

[京浜地区]
- 酸洗ライン（26年度）、溶融亜鉛めっきライン（第4CGL）（28年度）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

京浜土地活用

前回公表資料より一部加筆

8次中期進捗（25年～）

- CNエネゾーン（賃貸）　：日本水素エネルギーに賃貸開始（25年4月～）
- 高度物流ゾーン（売却）　：**日本GLPと土地譲渡契約を締結（26年8月）**
- 電力・データセンター事業　：三菱商事と共同実施に向け基本合意書締結（26年3月）

譲渡益：　450億円程度（見込み）
（27年度：230億円、33年度以降：220億円）

2035年度に目指す姿（京浜土地利用転換エリア）

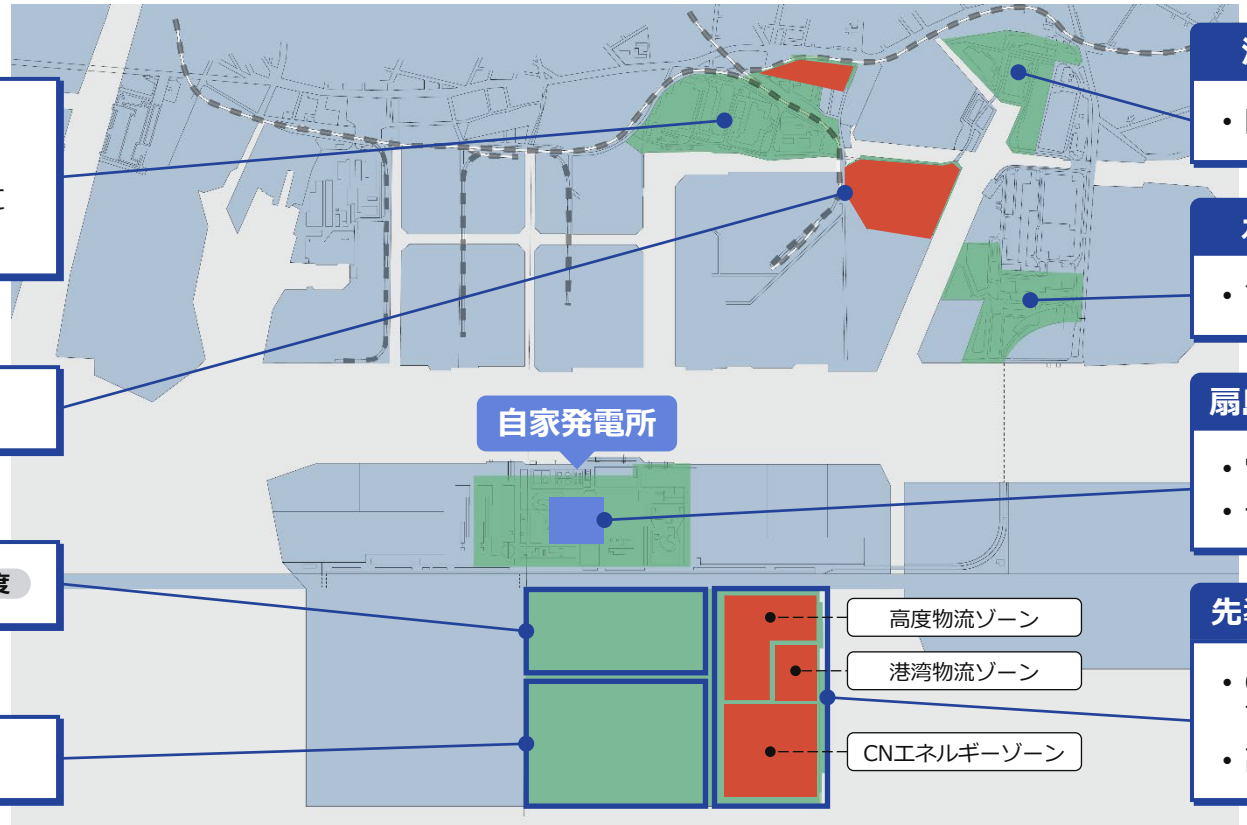
■：先行開発エリア

南渡田地区
- 研究開発機能を核とした産業拠点の整備
- 1期（6ha・売却済　24年度　）に続き、2期（4ha）の土地利用開始

扇町地区
- 売却済　24年度

沿道エリア
- 遊休施設解体、土地利用開始　31年度

共創エリア
- 遊休施設の解体　25～34年度完了



池上地区
- 臨海部の交通結節点として整備

水江地区
- 首都圏一大リサイクル事業拠点化

扇島北エリア
- 電力事業（水素利用）
- データセンター共同事業化

先導エリア※
- GI事業（液化水素サプライチェーンの商用実証）への賃貸　25年度～
- 高度物流ゾーンの売却　27年度～

※首都高速湾岸線扇島出入口（仮称）は28年度に一部供用開始予定

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

前回公表資料（再掲）

（成長投資・CN 対応投資と安定的な株主還元の両立）

- 足元の事業環境変化を踏まえ、財務健全性の確保のため、**資産売却の促進、投資計画の見直しを実施**
- 株主還元は、配当性向30%程度（年間80円/株下限）を維持する方針

キャッシュアロケーション

財務目標（27年度）
- Debt/EBITDA **3倍程度**
- D/Eレシオ **60%程度**

変更なし

足元の事業環境変化
- 中国経済の減速
- 米国関税等保護主義
- 主原料価格の高騰
- 中東情勢の緊迫化

8次中期経営計画（25/5公表）

キャッシュイン

営業キャッシュフロー **14,100億円**
- 減価償却費 8,700億円
- 当期利益等 5,400億円

資産売却促進

1,800億円 …… 資産売却

2,800億円 …… 借入等

キャッシュアウト

株主還元 **1,900億円**

投資 **16,800億円**

投資計画見直し

配当方針(*)維持

(*) 配当性向30%程度
年間80円/株下限

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

8次中期経営計画の達成に向けて

前回公表資料（再掲）

- 当社を取り巻く事業環境は非常に厳しく、26年度も当初中期想定を下回る見通し
- 中期最終年度である27年度の収益目標達成に向けては、特に**国内製鉄事業の収益回復が不可欠**

重点取り組み事項

- **鋼材価格引き上げ**完遂によるスプレッド改善
- **電磁鋼板、大単重厚板等の拡販**による高付加価値品比率の上昇
- **国内生産体制スリム化の推進、コストダウン継続**
  （薄板事業再編、グループ会社再編等）

- 海外鉄鋼事業も**JSWのオーガニックグロース**や、**JJSLからの持分法利益取り込み**を中心に収益拡大
- エンジニアリング事業は、堅調な国内WtR分野、および基幹インフラ分野を中心に、生産性向上とコストダウンによる収益改善を図る
- 商社事業は、足元の国際情勢を見極めながらインサイダー型ビジネスを推進し、事業収益を拡大
- 9次中期以降も、長期ビジョンの実現（CNに向けた技術開発のトップランナー、グループ事業利益の増大（7,000億円））に向けて、着実に取り組みを進めていく

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

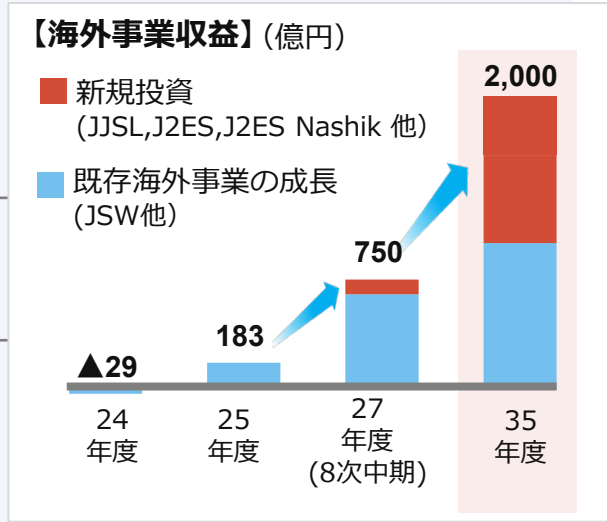
「JFEビジョン2035」の実現に向けて

前回公表資料より一部加筆

9次中期以降の成長につながる主な取り組み

ST 鉄鋼事業　EN エンジアリング事業　SH 商社事業　HD 京浜事業

国内最適生産体制再構築（グループ会社含む）	• 倉敷革新電気炉稼働（28年度）ST • 薄板事業再編（～28年度）、グループ形鋼事業再編 ST • 同業他社との連携（大和工業グループ、ヨドコウ等）ST
高付加価値品比率向上	• 福山新CGL稼働（28年度）ST • 造船業再生ロードマップに伴う鋼材需要の捕捉 ST
海外成長	• JSWのオーガニックグロース（30年度：50百万t）ST • JJSLの拡張完了（30年度：9.5百万t）ST • J2ES、J2ES Nashikの拡張完了（30年度：35万t）ST • インド・北米他重点地域でのインサイダー型プロジェクト推進 ST EN SH
カーボンニュートラル サーキュラーエコノミー	• 超革新技術の研究開発完了（35年目途）ST • GXスチール「JGreeX®」の拡販 ST • 洋上風力事業拡大（モノパイルの生産安定化、浮体式への参入）EN ST SH • 国内リサイクルバリューチェーンの構築 ST EN SH
京浜土地活用・事業利用	• 沿道・共創エリア解体→土地利用範囲拡大 HD • 電力、データセンター事業本格稼働（31年度：60MW規模を目指す）HD
その他	• ソリューション事業（JFE Resolus®）の拡大 ST



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料②
財務関連データ・損益分析他

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

財務関連データ

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

中期主要収益目標および業績概況

			第8次中期経営計画（27年度）	25年度実績	26年度見通し	27年度
グループ全体	連結事業利益		4,000億円	1,663億円（*）	1,250億円（*）	–
	ROE		少なくとも10%	2.7%	5%程度	–
	Debt/EBITDA		3倍程度	4.8倍	4.5倍	–
	D/E		60%程度	59.4%	66.0%	–
事業会社	鉄鋼事業	セグメント利益	2,600億円	690億円（*）	100億円（*）	–
	エンジニアリング事業	セグメント利益	420億円	239億円	250億円	–
	商社事業	セグメント利益	600億円	402億円	470億円	–
株主還元	配当方針		配当性向30%程度 但し80円/株を下限とする	80円/株	80円/株	–

(*) 鉄鋼 棚卸資産評価差除き

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

事業会社の収益状況（実績）

（億円）	第8次中期経営計画（27年度）	24年度実績	25年度実績
国内製鉄	900	432	▲456
国内Gr	900	823	906
海外鉄鋼	750	▲29	183
ソリューション	150	64	106
調整額	▲100	83	▲49
鉄鋼事業 ※棚卸資産評価差等除き	**2,600**	**1,373**	**690**
WtR	170	73	88
CN	160	5	25
基幹インフラ	90	115	126
エンジニアリング事業	**420**	**193**	**239**
国内	250	235	209
海外	350	244	193
商社事業	**600**	**479**	**402**
調整額	30	108	84
セグメント利益 ※棚卸資産評価差等除き	**3,650**	**2,155**	**1,415**

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

主な財務関連データ（実績）

【日本基準】

年度	‘17	‘18
【主要財務指標】(億円、%、倍)		
経常利益	2,163	2,211
ＥＢＩＴＤＡ ※1	3,888	4,059
ＲＯＳ ※2	5.9%	5.6%
ＲＯＥ ※3	7.6%	8.3%
ＲＯＡ ※4	5.2%	5.1%
借入金・社債等残高（期末）	13,309	14,499
Debt/EBITDA倍率 ※5	3.4倍	3.6倍
Ｄ／Ｅレシオ ※6	58.1%	62.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)		
親会社株主に帰属する当期純利益	251	285
配当金	80	95
配当性向	31.9%	33.3%

【IFRS】

年度	‘18	‘19	’20	’21	’22	’23	‘24	‘25
【主要財務指標】(億円、%、倍)								
事業利益	2,320	378	▲129	4,164	2,358	2,982	1,353	1,353
ＥＢＩＴＤＡ ※1	4,282	2,694	2,234	6,687	5,054	5,723	3,929	4,095
ＲＯＳ ※2	6.0%	1.0%	▲0.4%	9.5%	4.5%	5.8%	2.8%	3.0%
ＲＯＥ ※3	8.6%	▲11.1%	▲1.3%	15.7%	7.9%	8.6%	3.7%	2.7%
ＲＯＡ ※4	5.0%	0.8%	▲0.3%	8.4%	4.4%	5.3%	2.4%	2.3%
有利子負債残高（期末）	15,238	18,143	18,061	18,494	18,629	18,302	17,664	19,593
Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍	6.7倍	8.1倍	2.8倍	3.7倍	3.2倍	4.5倍	4.8倍
Ｄ／Ｅレシオ ※6	68.2%	96.4%	93.2%	80.8%	67.8%	58.0%	54.3%	59.4%
【1株当たり情報】(円/株、%)								
親会社の所有者に帰属する当期利益	284	▲343	▲38	500	281	323	144	110
配当金	95	20	10	140	80	100	100	80
配当性向	33.5%	–	–	28.0%	28.5%	30.9%	69.2%	72.5%

【日本基準】
※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費
※2 ROS: 経常利益/売上高
※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本
※4 ROA: （経常利益＋支払利息）/総資産
※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA
※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

【IFRS】
※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費
※2 ROS: 事業利益/売上収益
※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分
※4 ROA: 事業利益/資産合計
※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA
※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分
但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績推移（年度別実績）

（億円）	2018年度 年間	2019年度 年間	2020年度 年間	2021年度 年間	2022年度 年間	2023年度 年間	2024年度 年間	2025年度 年間
鉄鋼事業	28,306	26,813	22,552	31,734	38,811	37,160	33,651	30,884
エンジニアリング事業	4,858	5,122	4,857	5,082	5,125	5,399	5,698	5,997
商社事業	11,258	10,841	9,325	12,317	15,141	14,764	14,385	13,330
調整額	▲5,686	▲5,480	▲4,461	▲5,483	▲6,389	▲5,578	▲5,139	▲4,819
売上収益　計	38,736	37,297	32,272	43,651	52,687	51,746	**48,596**	**45,392**
事業利益（A）	**2,320**	**378**	**▲129**	**4,164**	**2,358**	**2,982**	**1,353**	**1,353**
※棚卸資産評価差等除き	**[1,950]**	**[678]**	**[211]**	**[2,224]**	**[1,628]**	**[2,962]**	**[2,363]**	**[1,663]**
金融損益（B）	▲125	▲125	▲124	▲116	▲148	▲186	▲207	▲247
鉄鋼事業	1,613	▲87	▲654	3,237	1,468	2,027	363	380
※棚卸資産評価差等除き	[1,243]	[213]	[▲314]	[1,297]	[738]	[2,007]	[1,373]	[690]
エンジニアリング事業	201	231	240	260	134	243	193	239
商社事業	357	270	200	559	651	489	479	402
調整額	23	▲159	▲41	▲9	▲43	35	108	84
セグメント利益　計	**2,195**	**253**	**▲254**	**4,048**	**2,210**	**2,796**	**1,145**	**1,105**
※棚卸資産評価差等除き	**[1,825]**	**[553]**	**[86]**	**[2,108]**	**[1,480]**	**[2,776]**	**[2,155]**	**[1,415]**
個別開示項目	▲102	▲2,388	204	▲162	▲107	▲112	297	▲231
税引前利益	2,093	▲2,134	▲49	3,885	2,102	2,683	1,443	874
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲458	157	▲169	▲1,004	▲476	▲709	▲524	▲172
当期利益	**1,635**	**▲1,977**	**▲218**	**2,880**	**1,626**	**1,974**	**918**	**701**

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績推移（四半期別実績）

（億円）		2025年度							2026年度						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間
	鉄鋼事業	7,612	7,762	15,374	7,738	7,772	15,510	30,884	7,635	8,221	15,856	-	-	-	-
	エンジニアリング事業	1,353	1,517	2,870	1,483	1,644	3,127	5,997	1,473	1,579	3,052	-	-	-	-
	商社事業	3,387	3,088	6,475	3,459	3,396	6,855	13,330	3,806	3,975	7,781	-	-	-	-
	調整額	▲1,200	▲1,194	▲2,394	▲1,203	▲1,222	▲2,425	▲4,819	▲1,304	▲1,382	▲2,686	-	-	-	-
売上収益　計		**11,153**	**11,173**	**22,326**	**11,476**	**11,590**	**23,066**	**45,392**	**11,611**	**12,393**	**24,004**	**-**	**-**	**-**	**-**
事業利益（A）		**162**	**295**	**457**	**517**	**379**	**896**	**1,353**	**323**	**444**	**767**	**-**	**-**	**-**	**-**
※棚卸資産評価差等除き		**[452]**	**[485]**	**[937]**	**[497]**	**[229]**	**[726]**	**[1,663]**	**[143]**	**[304]**	**[447]**	**-**	**-**	**-**	**-**
金融損益（B）		▲58	▲57	▲115	▲67	▲65	▲132	▲247	▲63	▲95	▲158	-	-	-	-
	鉄鋼事業	▲121	68	▲53	286	147	433	380	30	128	158	-	-	-	-
	※棚卸資産評価差等除き	[169]	[258]	[427]	[266]	[▲3]	[263]	[690]	[▲150]	[▲12]	[▲162]	-	-	-	-
	エンジニアリング事業	57	69	126	41	72	113	239	89	61	150	-	-	-	-
	商社事業	126	93	219	107	76	183	402	113	129	242	-	-	-	-
	調整額	41	7	48	16	20	36	84	26	30	56	-	-	-	-
セグメント利益　計		**103**	**238**	**341**	**451**	**313**	**764**	**1,105**	**259**	**349**	**608**	**-**	**-**	**-**	**-**
※棚卸資産評価差等除き		**[393]**	**[428]**	**[821]**	**[431]**	**[163]**	**[594]**	**[1,415]**	**[79]**	**[209]**	**[288]**	**-**	**-**	**-**	**-**
個別開示項目		0	0	0	0	▲231	▲231	▲231	150	▲52	98	-	-	-	-
税引前利益		103	238	341	451	82	533	874	409	297	706	-	-	-	-
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益		▲32	▲42	▲74	▲109	11	▲98	▲172	▲97	▲71	▲168	-	-	-	-
当期利益		**71**	**195**	**266**	**342**	**93**	**435**	**701**	**312**	**225**	**537**	**-**	**-**	**-**	**-**

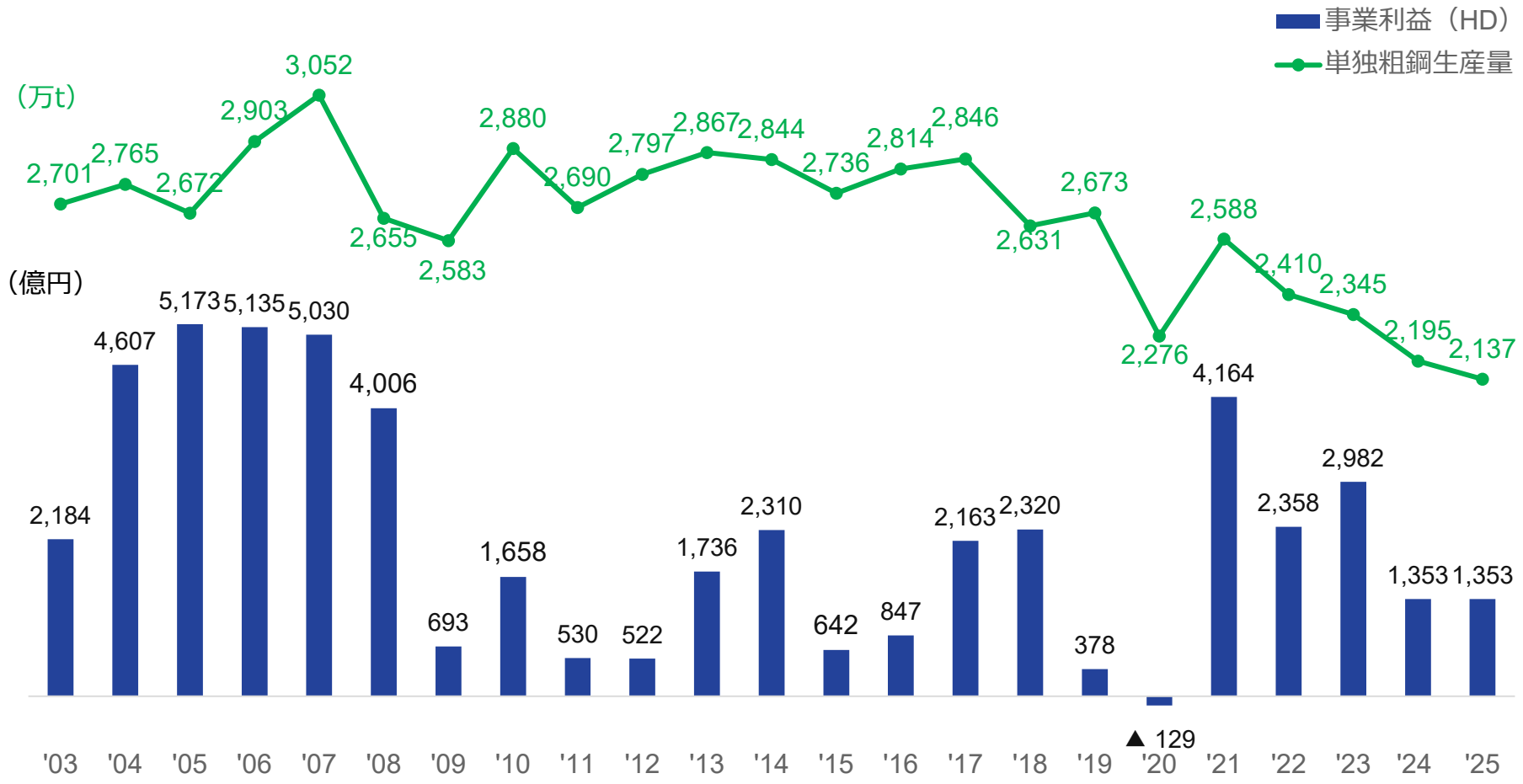
事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

事業利益と粗鋼生産量の推移（年度別実績）

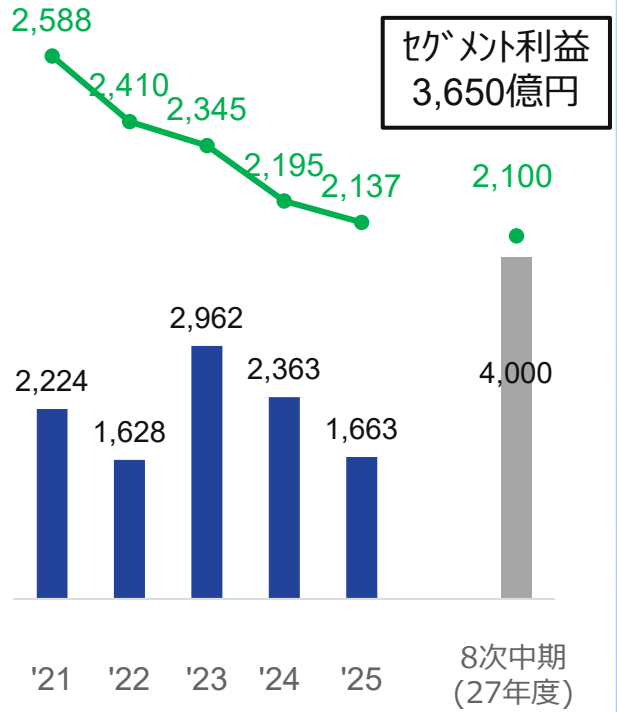
事業利益 1)



1) ’17年以前は日本基準の経常利益

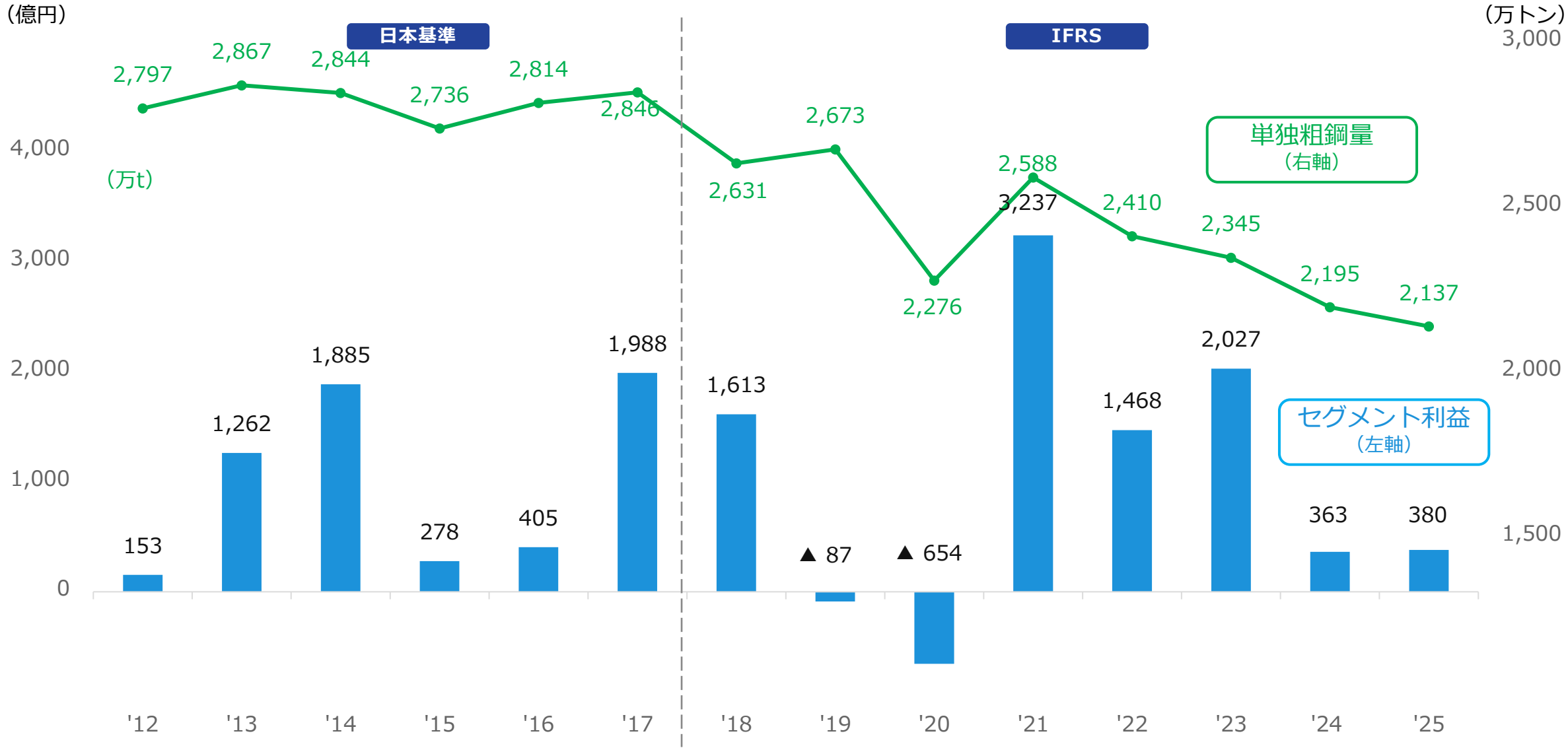
事業利益（実力ベース）

(棚卸資産評価差等除き)



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

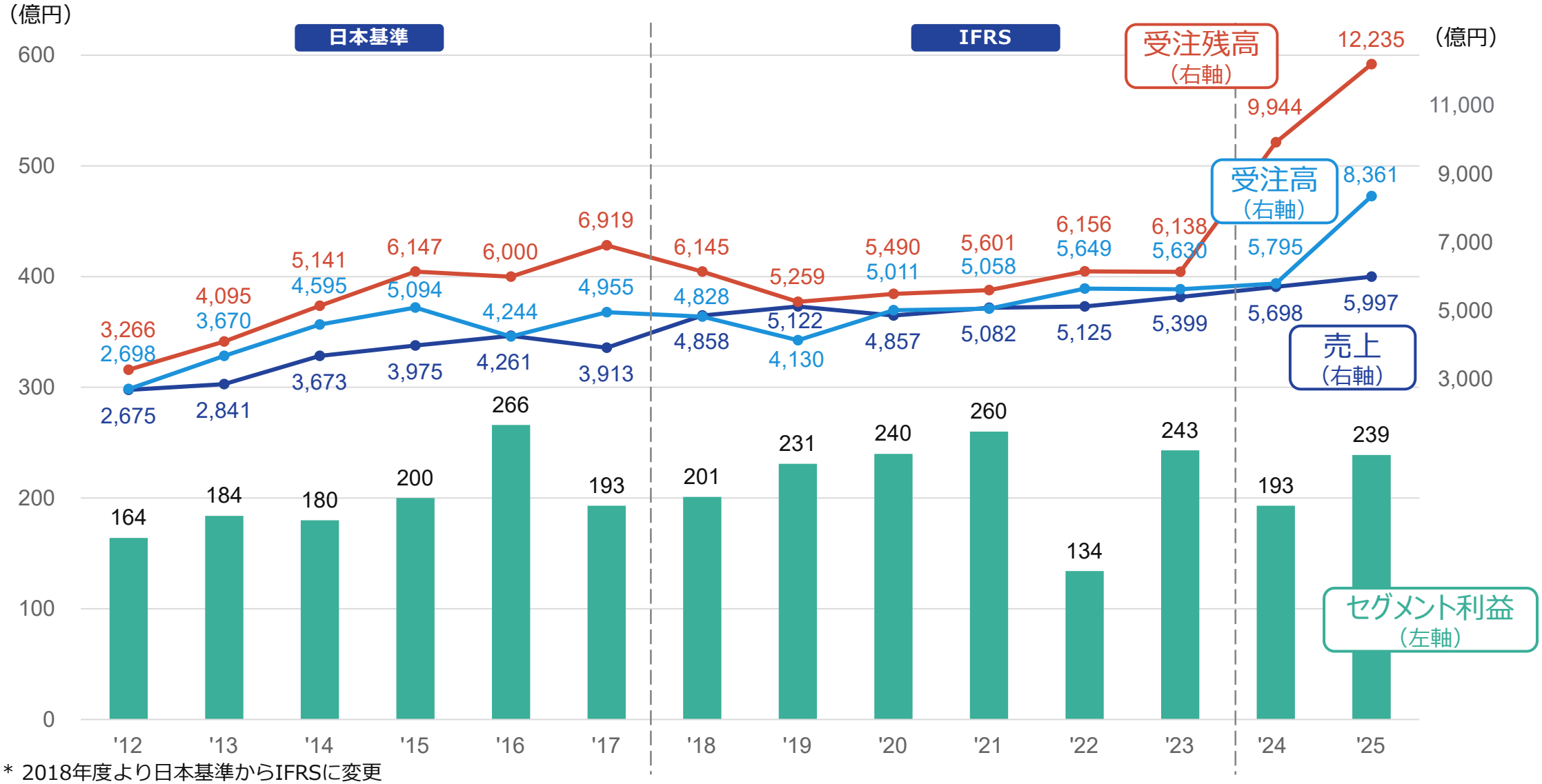
JFEスチール　業績・粗鋼生産量推移（年度別実績）



＊ 2018年度より日本基準からIFRSに変更

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

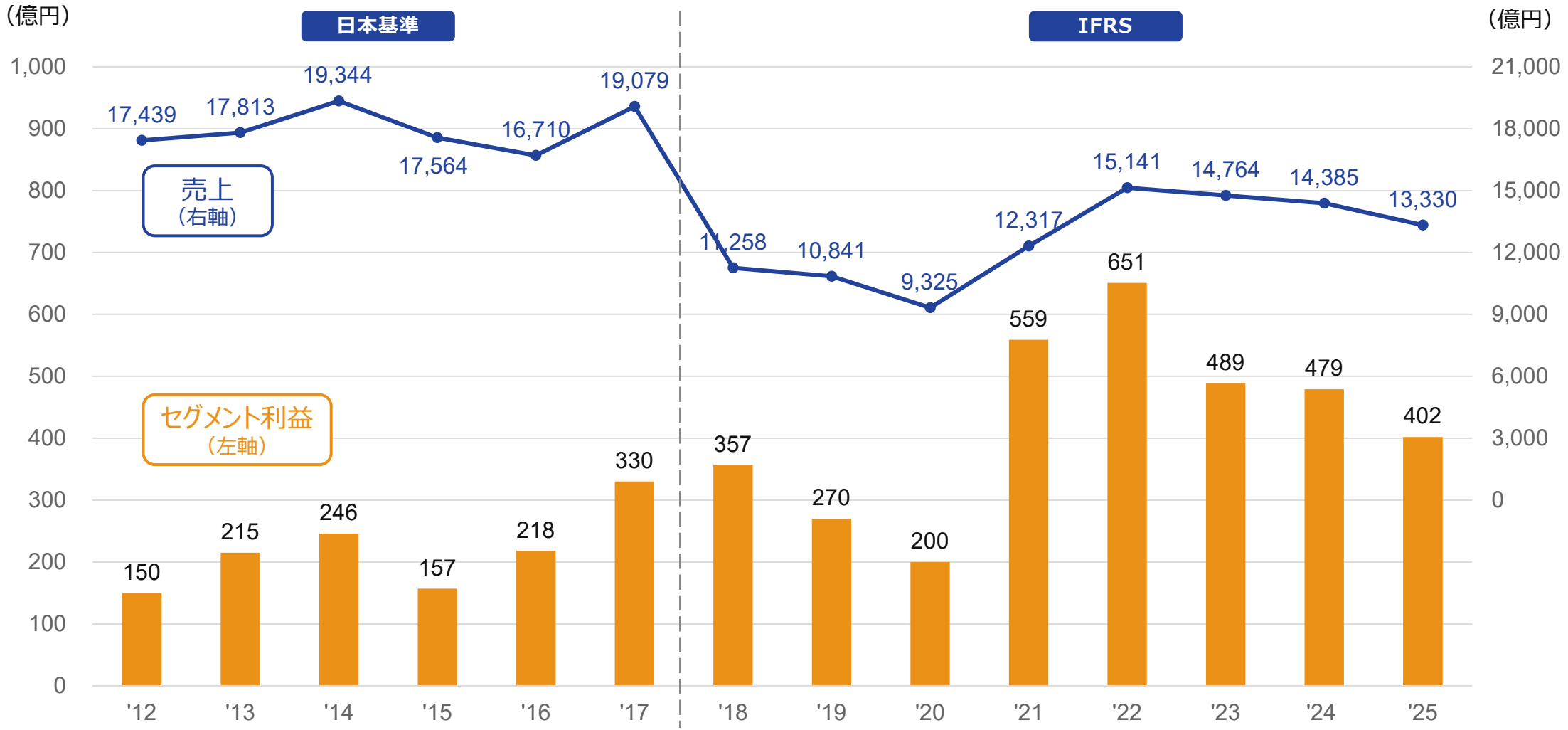
JFEエンジニアリング　業績推移（年度別実績）



＊ 2018年度より日本基準からIFRSに変更
＊ 2024年度より、長期包括契約の受注計上方法を各年度に受注計上から契約時一括計上に変更

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFE商事　業績推移（年度別実績）



＊ 2018年度より日本基準からIFRSに変更

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

損益分析

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEスチール　四半期別データ

	単位	2024年度					2025年度					2026年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上収益	億円	8,606	8,687	8,289	8,069	33,651	7,612	7,762	7,738	7,772	30,884	7,635	8,221	-	-	-
セグメント利益	億円	315	30	104	▲86	363	▲121	68	286	147	380	30	128	-	-	-
棚卸資産評価差等除*	億円	365	510	444	54	1,373	169	258	266	▲3	690	▲150	▲12	-	-	-
単独粗鋼生産量	万t	548	555	553	539	2,195	528	552	532	525	2,137	525	506	-	-	-
連結粗鋼生産量	万t	580	589	583	567	2,320	561	581	559	554	2,255	556	534	-	-	-
単独鋼材出荷量	万t	470	496	487	484	1,936	471	482	472	461	1,886	454	454	-	-	-
鋼材輸出比率単独・金額ベース	%	40.6	44.2	40.0	41.9	41.7	39.9	42.8	40.3	40.1	40.8	39.3	41.3	-	-	-
鋼材平均価格	千円/t	139.2	131.5	127.0	124.0	130.3	120.4	119.2	120.0	123.4	120.7	124.2	134.1	-	-	-
為替ﾚｰﾄ	円/US$	155.0	152.8	149.0	154.1	152.7	145.3	147.0	153.2	155.3	150.2	159.9	161.0	-	-	-
期末為替ﾚｰﾄ	円/US$	161.1	142.7	158.2	149.5	149.5	144.8	148.9	156.6	159.9	159.9	162.4	157.4	-	-	-

＊セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリーオーバー、為替換算差等を除いた損益

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2026年度4-6月→7-9月　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2026年度 4-6月実績	2026年度 7-9月実績
単独 粗鋼生産量	万t	525	506
単独 出荷量	万t	454	454
鋼材 平均価格	千円/t	124.2	134.1
為替レート	円/ドル	159.9	161.0

（億円）	2026年度 4-6月 実績	2026年度 7-9月 実績	増減
セグメント利益	30	128	+98
＊棚卸資産評価差等除き	▲150	▲12	+138

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+238

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲250	・数量▲150（粗鋼減産▲50万t）、コスト▲100
②コスト	+60	・操業改善他
③数量・構成	+80	・高付加価値品拡大等
④スプレッド*	+270	・鋼材価格改善推進
⑤棚卸資産評価差等	▲40	・棚卸資産評価差　+40 (+130→+170) ・キャリーオーバー影響　▲20 (+ 30→ + 10) ・為替換算差　▲60 (+ 20→ ▲ 40)
⑥その他	▲22	・Gr会社　+30（国内+20、海外+10（インド±０）） ・その他　▲52（工事時期差、償却費、金利 他）

中東情勢のコスト影響変化なし

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2025年度下期→2026年度上期　セグメント利益 増減内訳

JFEスチール

	単位	2025年度 下期実績	2026年度 上期実績
単独 粗鋼生産量	万t	1,057	1,031
単独 出荷量	万t	933	908
鋼材 平均価格	千円/t	121.7	129.1
為替レート	円/ドル	154.3	160.5

（億円）	2025年度 下期 実績	2026年度 上期 実績	増減
セグメント利益	433	158	▲275
＊棚卸資産評価差等除き	263	▲162	▲425

・千葉豪雨・台風影響　▲250
・その他　+88

内訳　※②③は、①の影響を除く

①千葉地区豪雨・台風影響（一過性）	▲250	・数量▲150（粗鋼減産▲50万t）、コスト▲100
②コスト	+110	・操業改善他
③数量・構成	+50	・高付加価値品拡大等
④スプレッド*	▲270	・国内外の鋼材市況低迷/主原料価格高騰 ・中東影響による諸コスト上昇 ・鋼材価格改善の取り組み
⑤棚卸資産評価差等	+150	・棚卸資産評価差　+340（▲ 40→+300） ・キャリーオーバー影響　▲ 80（+120→+ 40） ・為替換算差　▲110（+ 90→ ▲ 20）
⑥その他	▲65	・Gr会社　+20（国内▲140、海外+160（インド+130）） ・その他　▲85（償却費、金利 他）

中東情勢のコスト影響▲300程度（Gr会社含む）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

業績ハイライト　JSW JFE Steel Ltd. (JJSL)

	26年度 4-6月	26年度 7-9月	26年度 上期
粗鋼生産量（百万t）	0.99	**0.91**	**1.90**
鋼材販売量（百万t）	0.86	**0.92**	**1.79**
営業収益（億ルピー）	602	**682**	**1,284**
EBITDA（億ルピー）	107	**114**	**221**
税後利益（億ルピー）	17.6	**▲2.8**	**14.8**

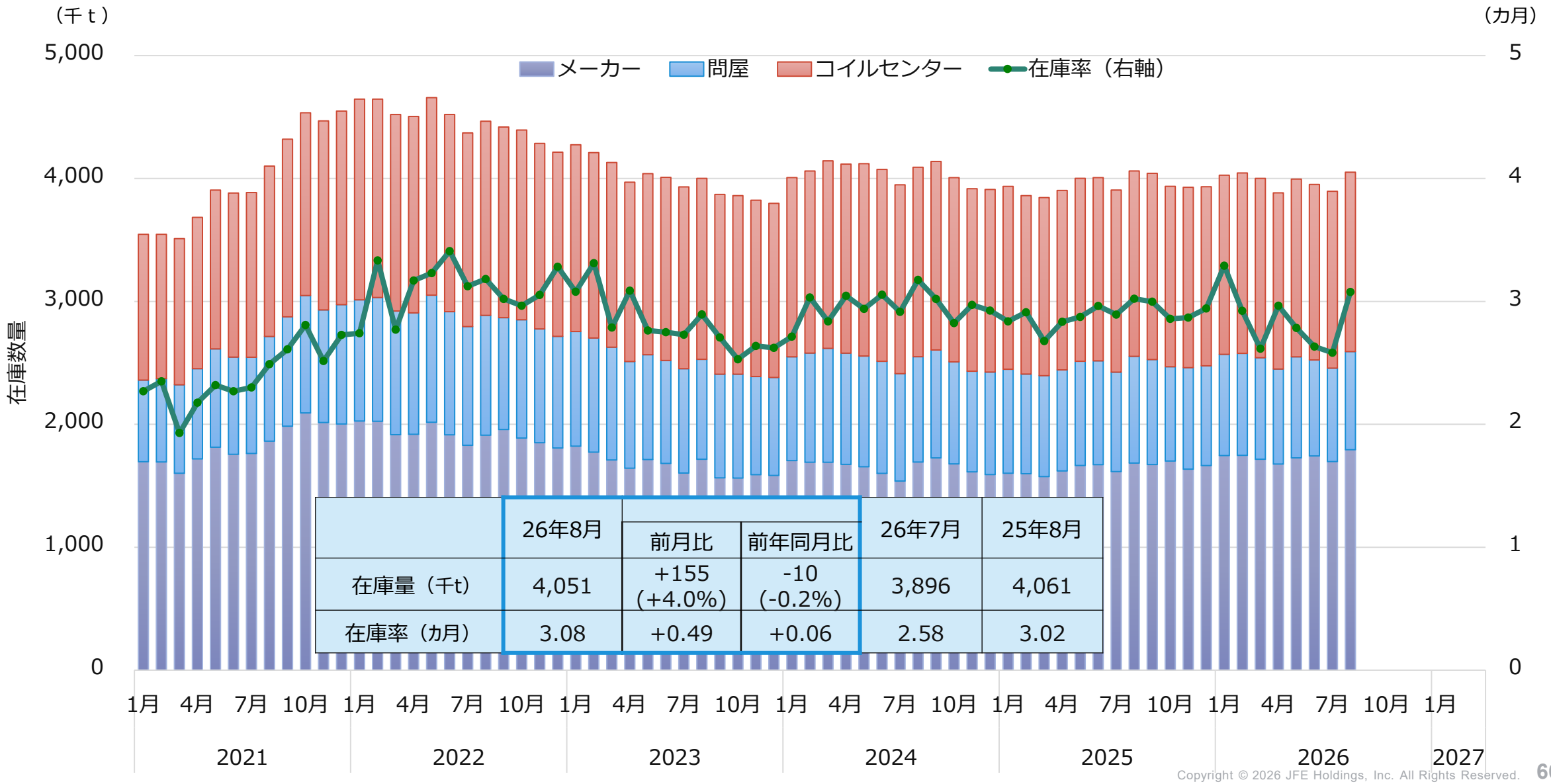
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料③　事業環境指標他

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［国内販売環境］薄板３品在庫

JFEスチール

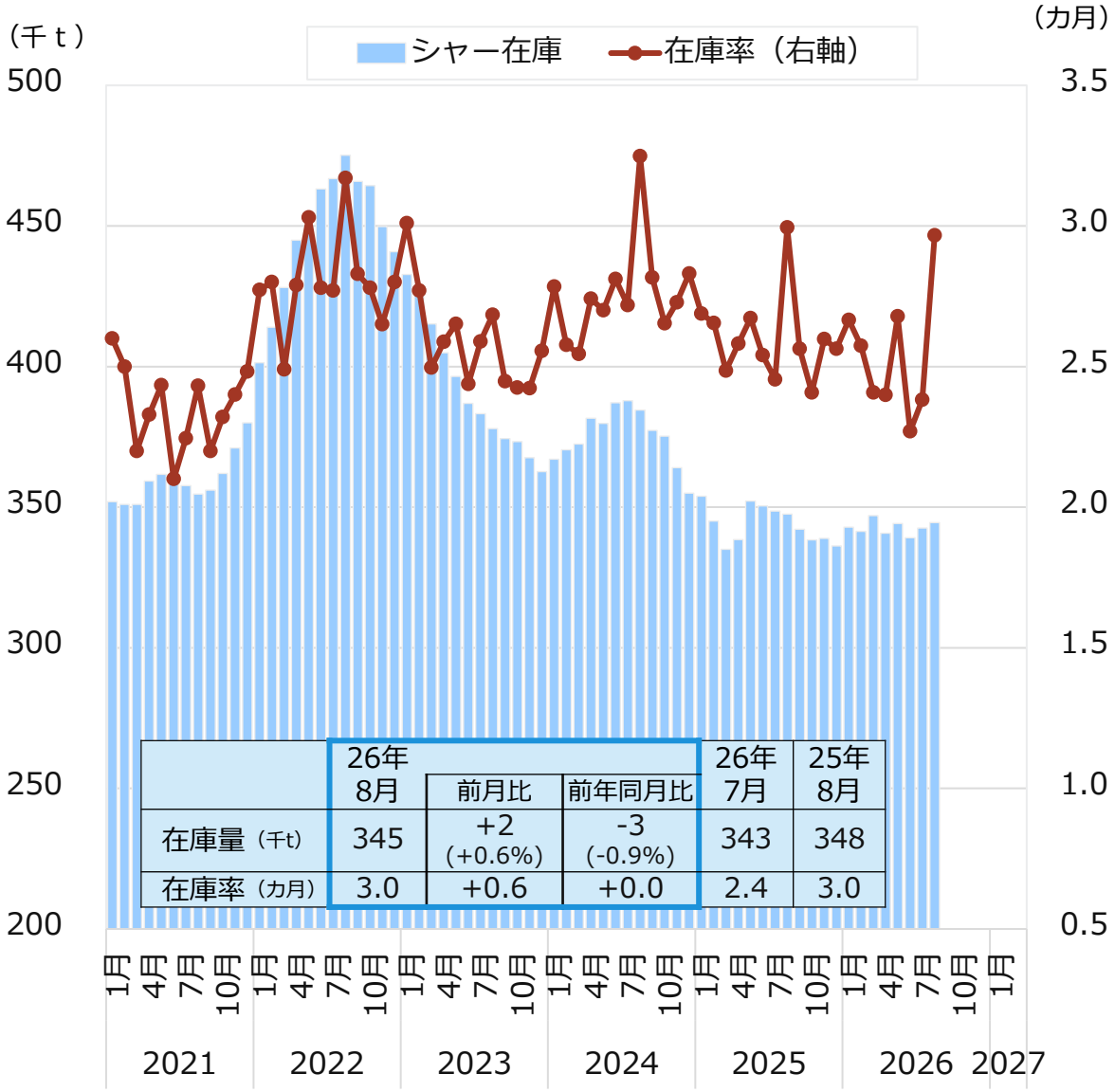


	26年8月	前月比	前年同月比	26年7月	25年8月
在庫量（千t）	4,051	+155 (+4.0%)	-10 (-0.2%)	3,896	4,061
在庫率（カ月）	3.08	+0.49	+0.06	2.58	3.02

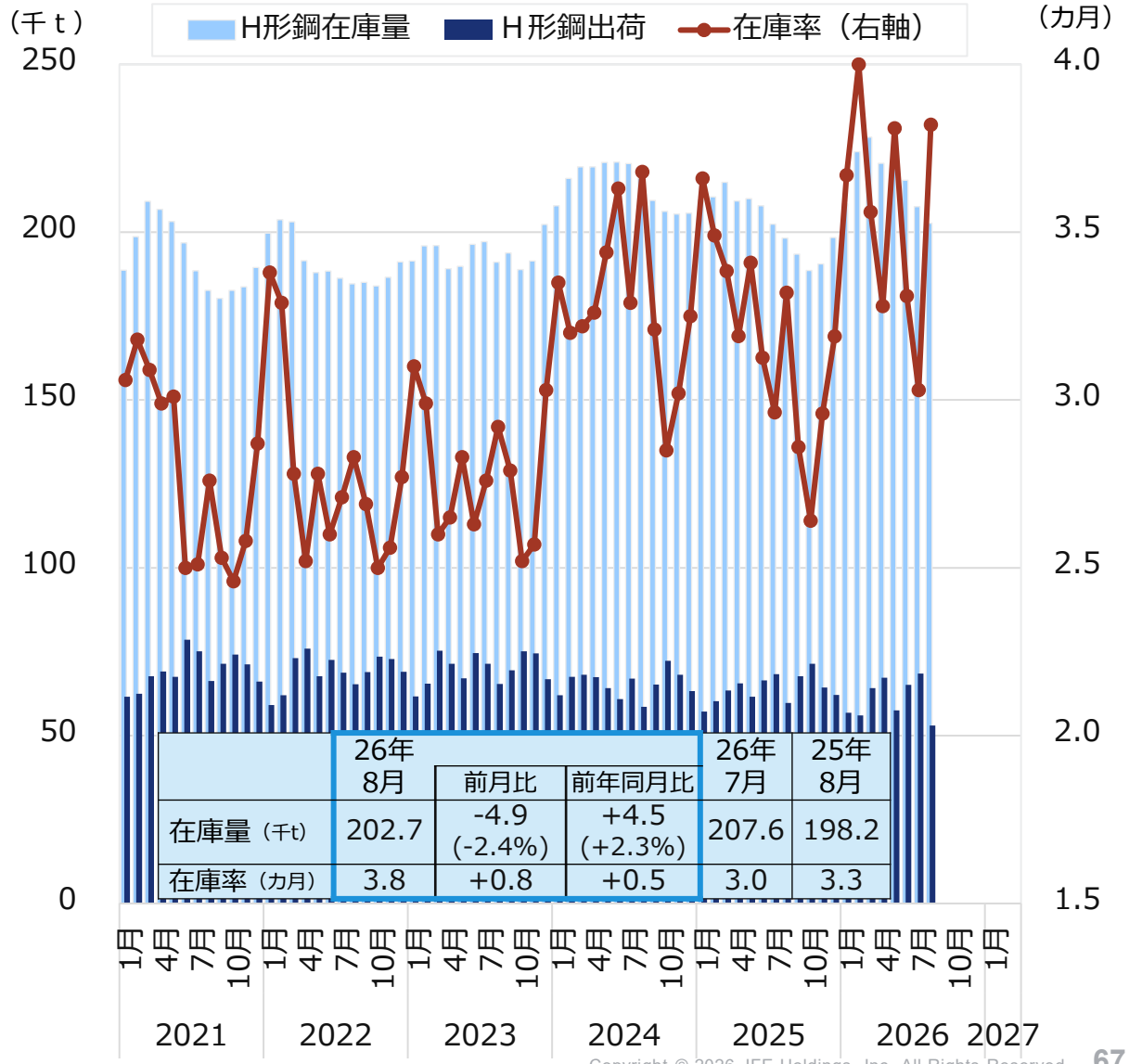
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［国内販売環境］厚板シャー・H形鋼在庫

JFEスチール



	26年 8月	前月比	前年同月比	26年 7月	25年 8月
在庫量（千t）	345	+2 (+0.6%)	-3 (-0.9%)	343	348
在庫率（カ月）	3.0	+0.6	+0.0	2.4	3.0

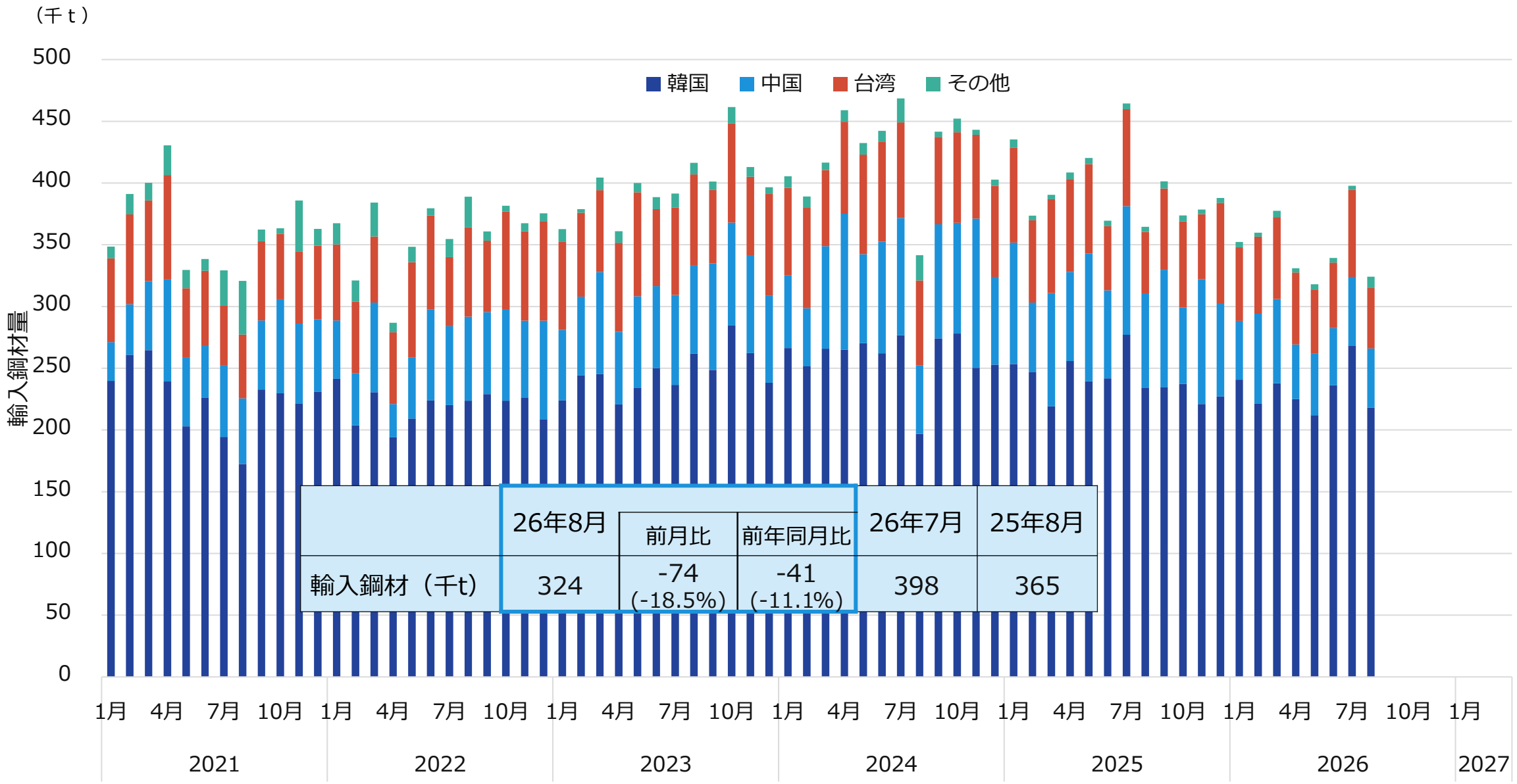


	26年 8月	前月比	前年同月比	26年 7月	25年 8月
在庫量（千t）	202.7	-4.9 (-2.4%)	+4.5 (+2.3%)	207.6	198.2
在庫率（カ月）	3.8	+0.8	+0.5	3.0	3.3

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［国内販売環境］輸入鋼材（普通鋼/国別）

JFEスチール

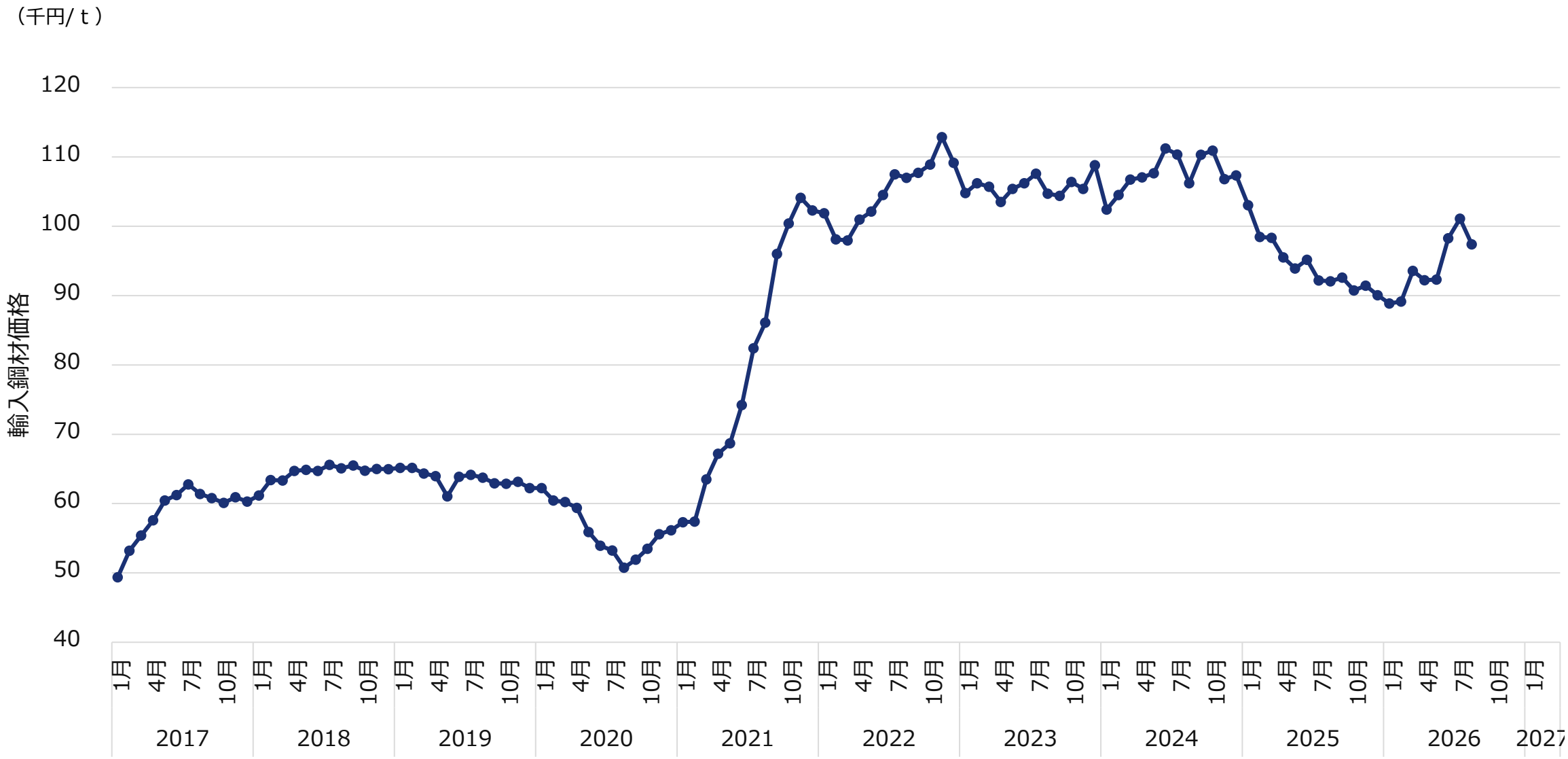


	26年8月	前月比	前年同月比	26年7月	25年8月
輸入鋼材（千t）	324	-74 (-18.5%)	-41 (-11.1%)	398	365

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［国内販売環境］輸入鋼材価格

JFEスチール

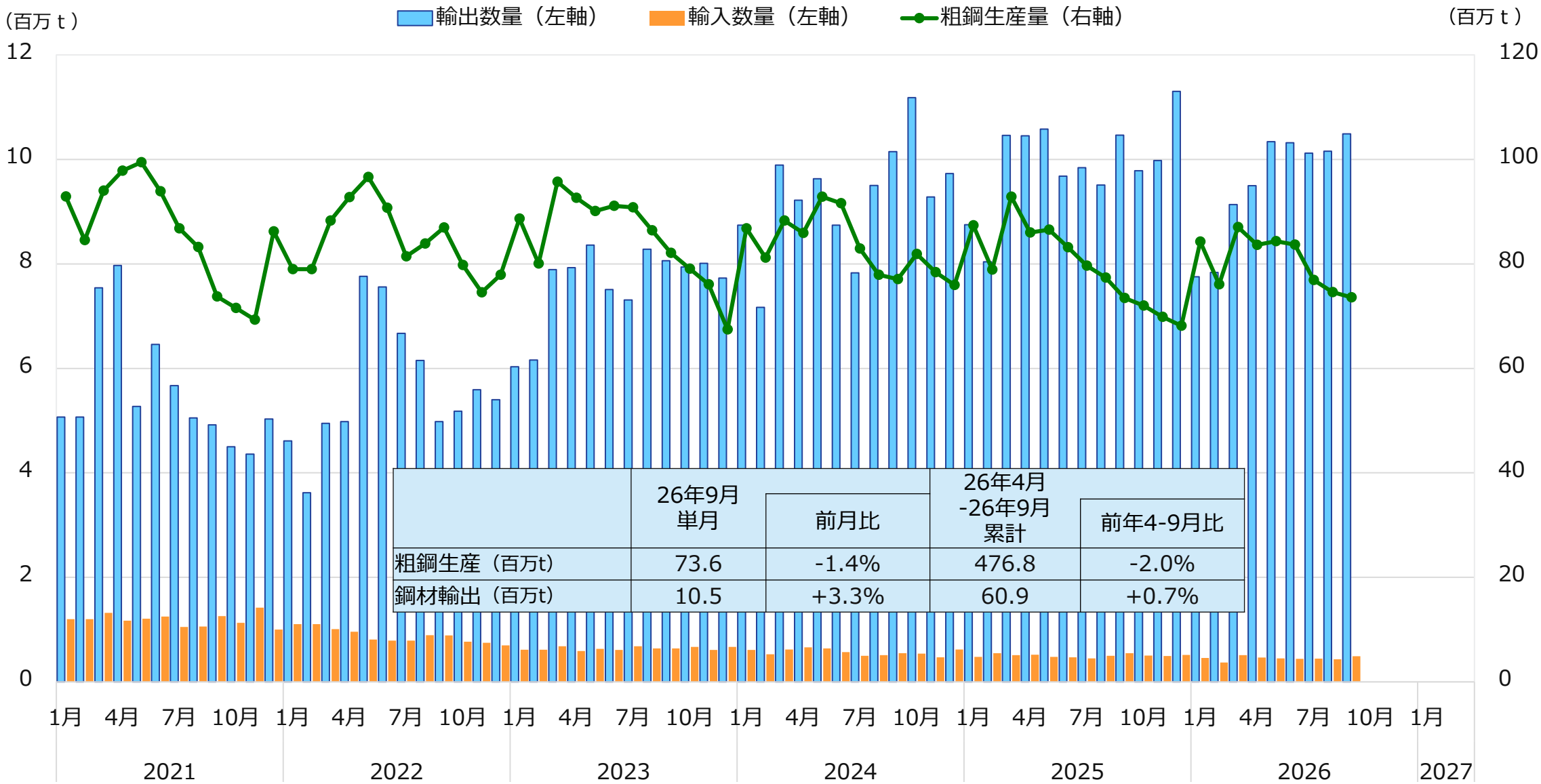


日本鉄鋼連盟データより作成（韓国から輸入の熱延広幅帯鋼）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［海外販売環境］中国粗鋼生産・輸出入

JFEスチール

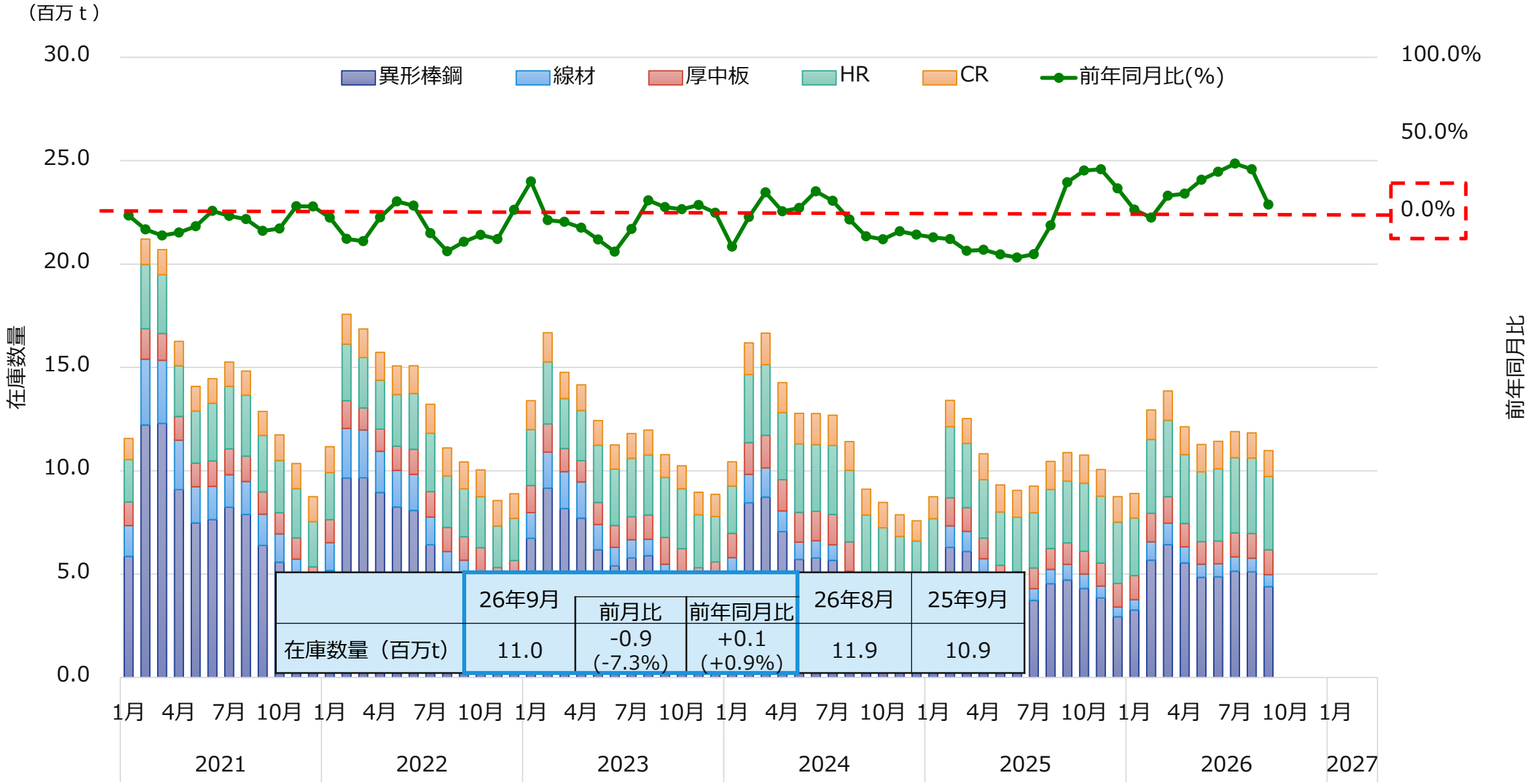


	26年9月 単月	前月比	26年4月 -26年9月 累計	前年4-9月比
粗鋼生産（百万t）	73.6	-1.4%	476.8	-2.0%
鋼材輸出（百万t）	10.5	+3.3%	60.9	+0.7%

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［海外販売環境］中国品種別在庫数量

JFEスチール

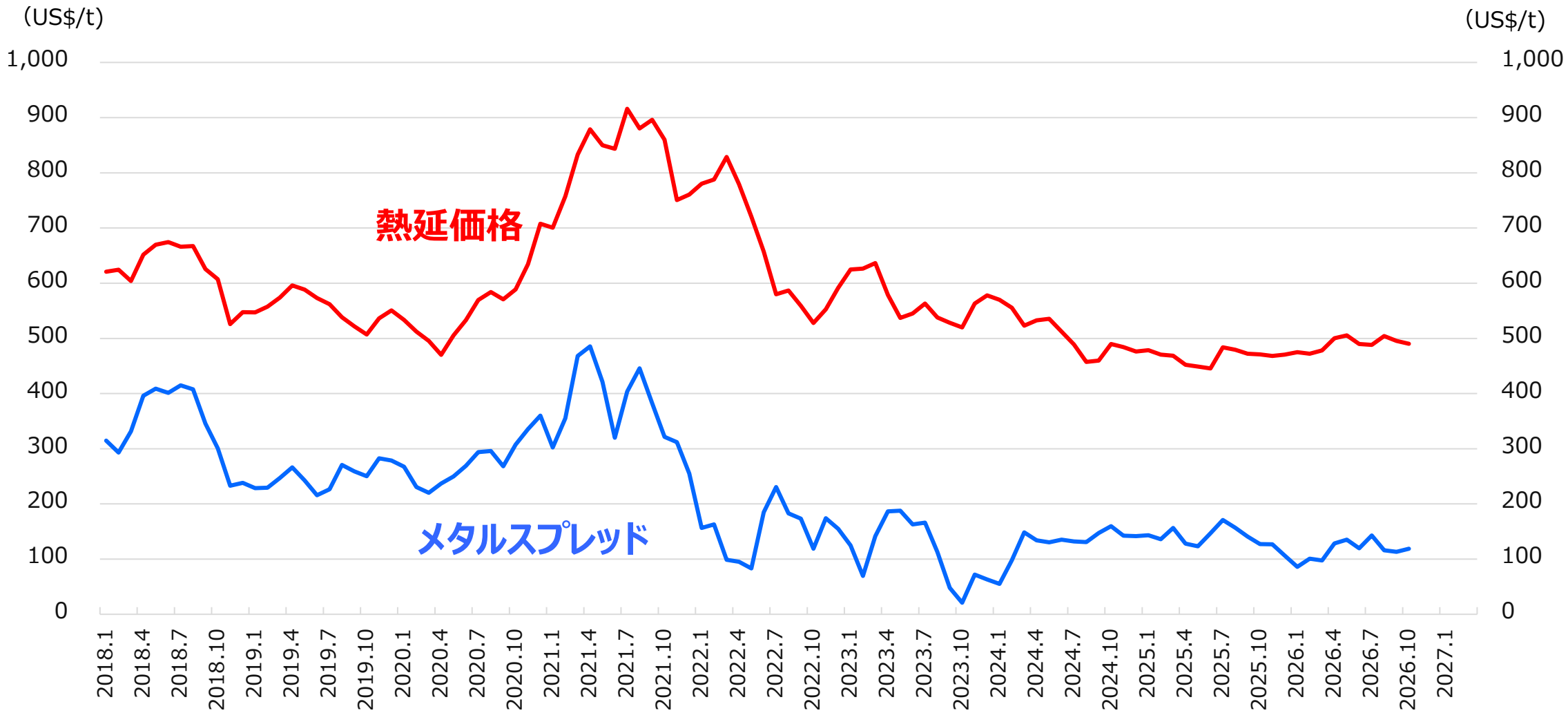


	26年9月	前月比	前年同月比	26年8月	25年9月
在庫数量（百万t）	11.0	-0.9 (-7.3%)	+0.1 (+0.9%)	11.9	10.9

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［海外販売環境］ メタルスプレッド（中国スポットベース）

JFEスチール



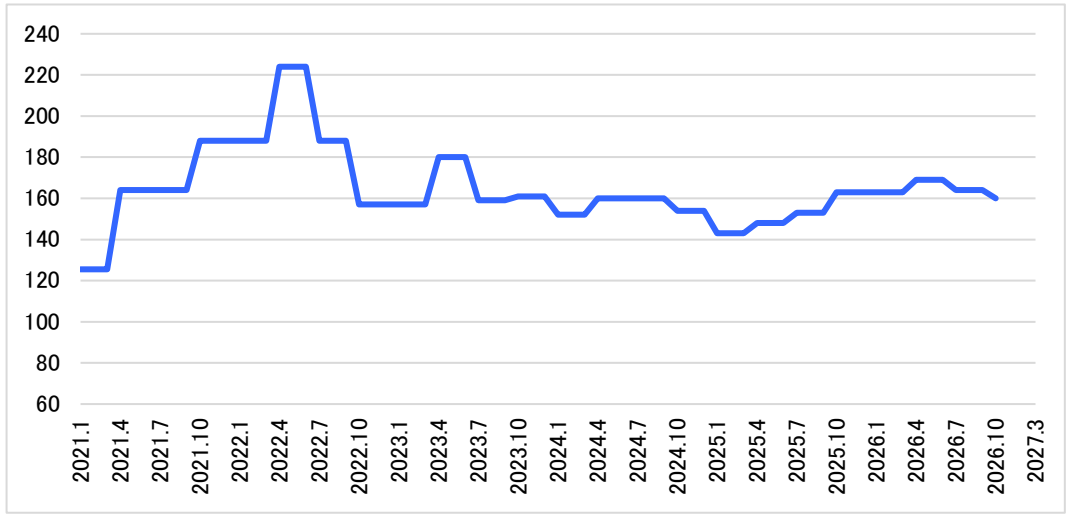
メタルスプレッド＝熱延価格－主原料コスト

※熱延価格：中国5都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

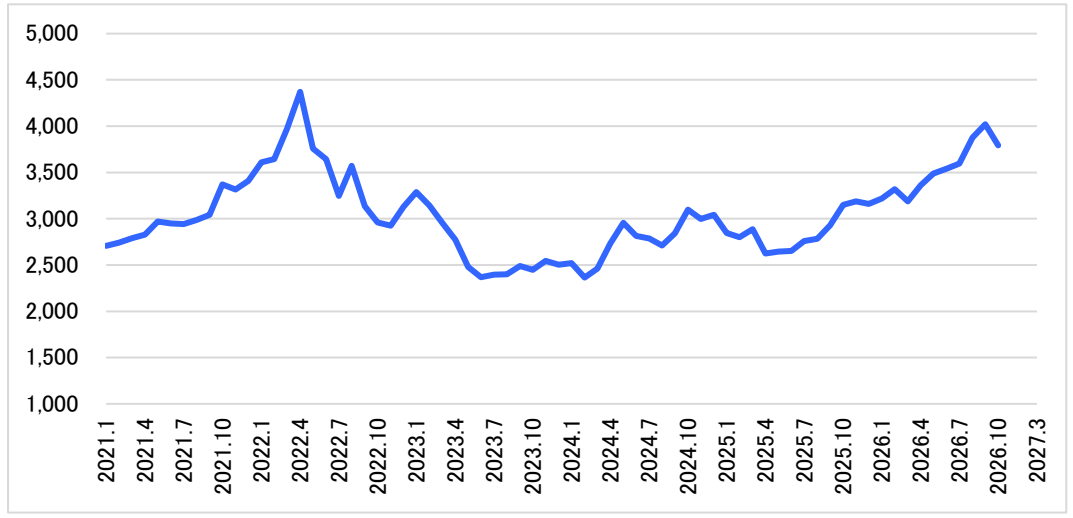
Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［原料］金属市況推移

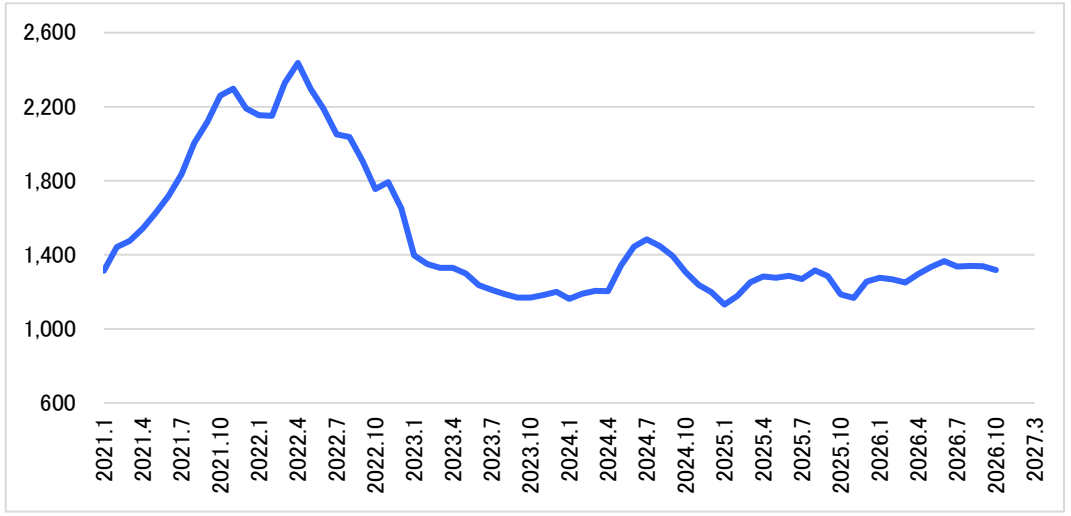
(¢/lb) フェロクロム



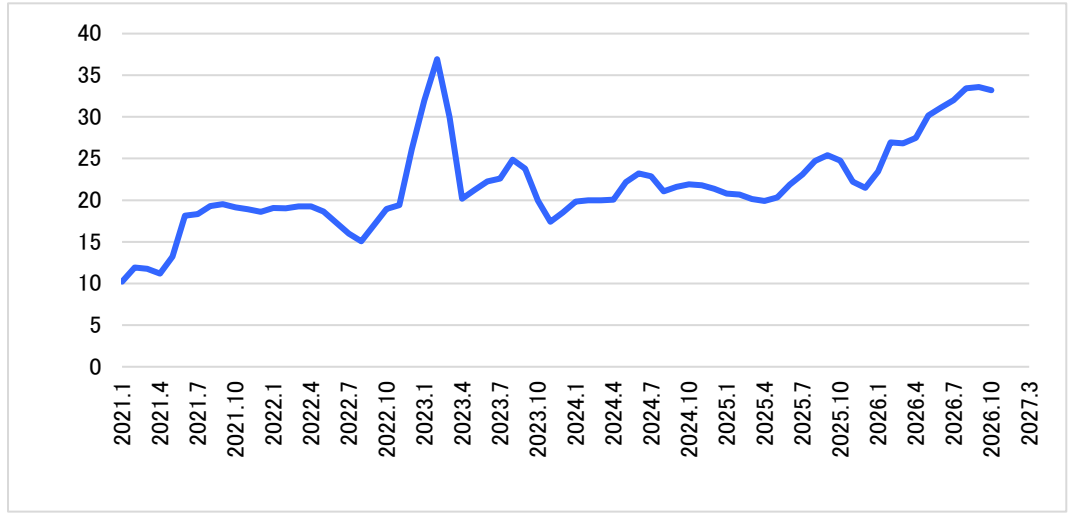
(US$/t) 亜鉛



(US$/t) フェロマンガン



(US$/lb) モリブデン

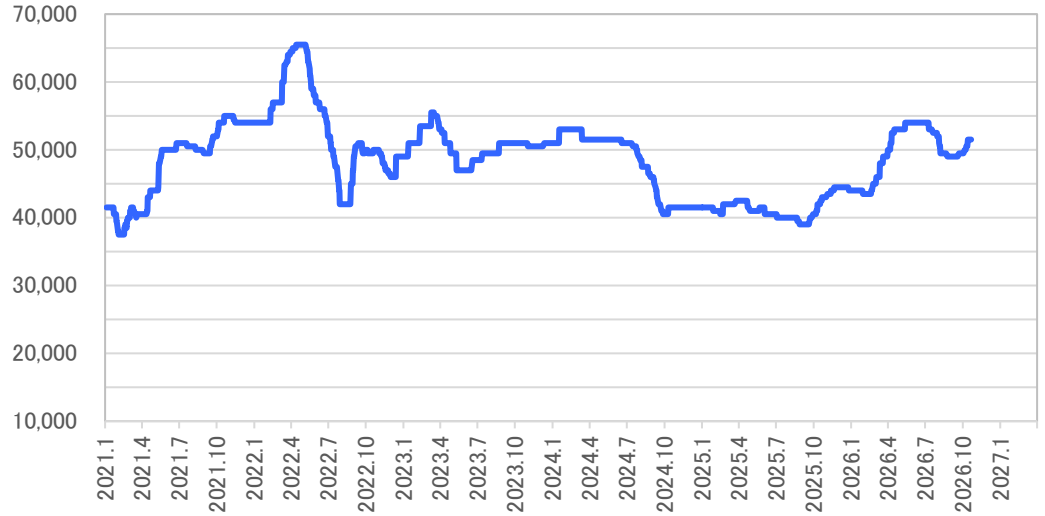


Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

［原料］その他市況推移

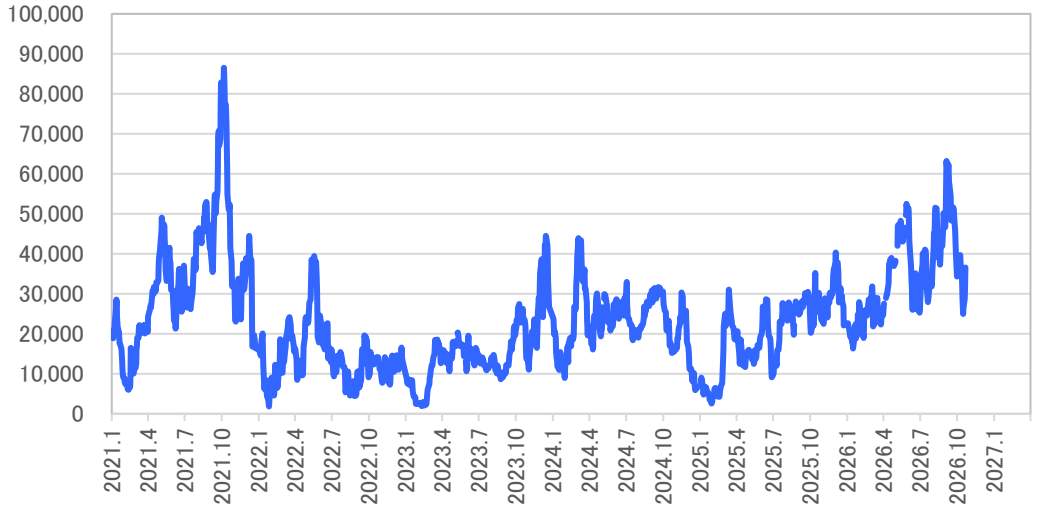
スクラップ市況

（円/ｔ）



スポット傭船市況

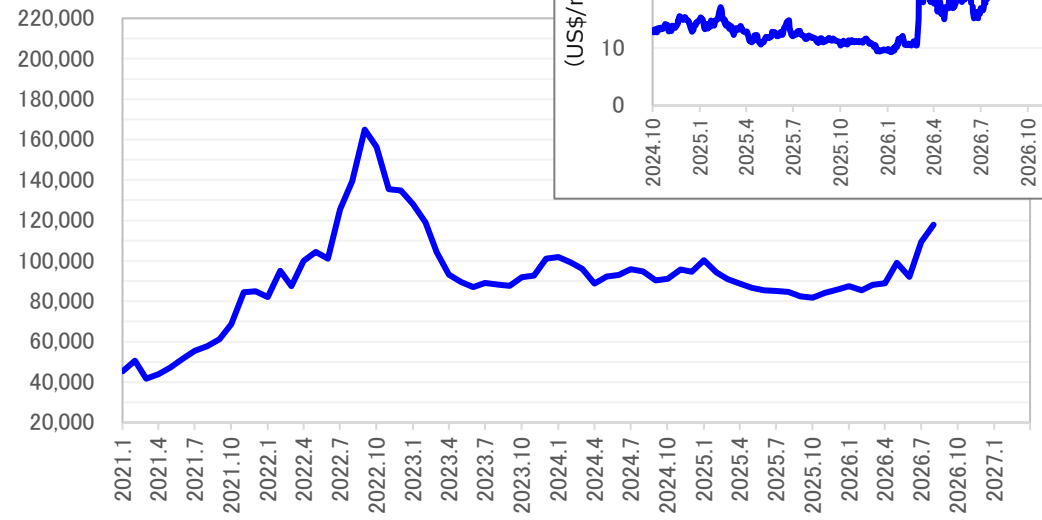
（US$/B）

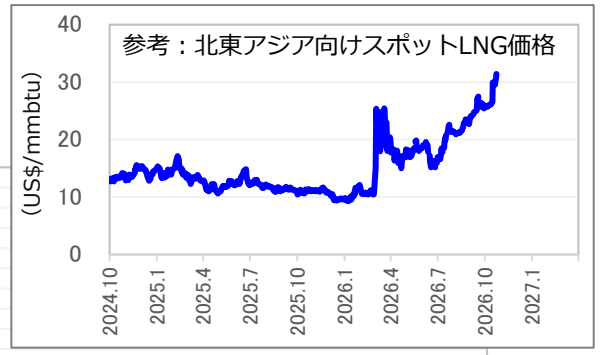


LNG市況

（円/ｔ）

（日本LNG通関統計価格）

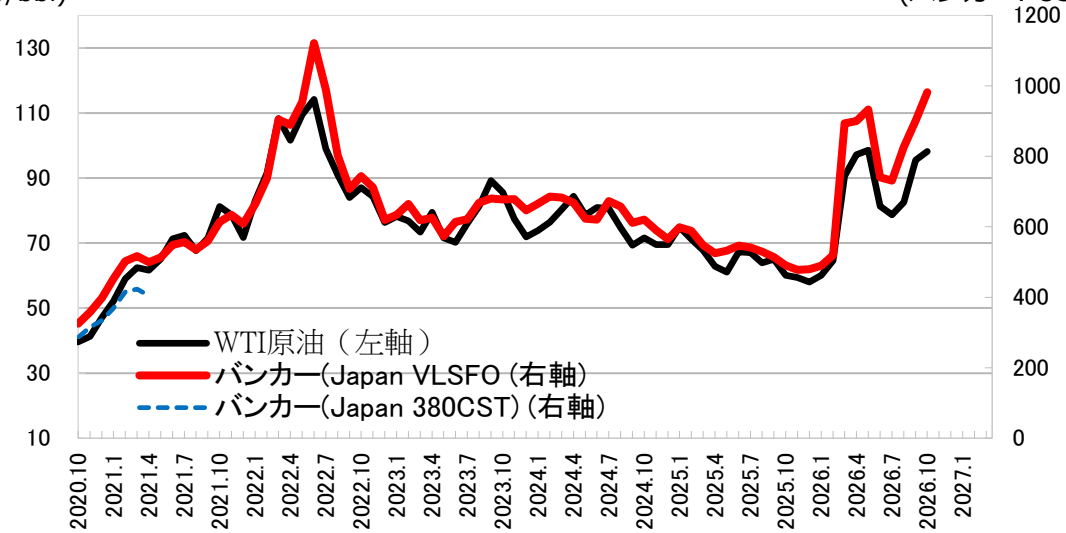




原油・バンカー市況

（WTI原油: US$/bbl）

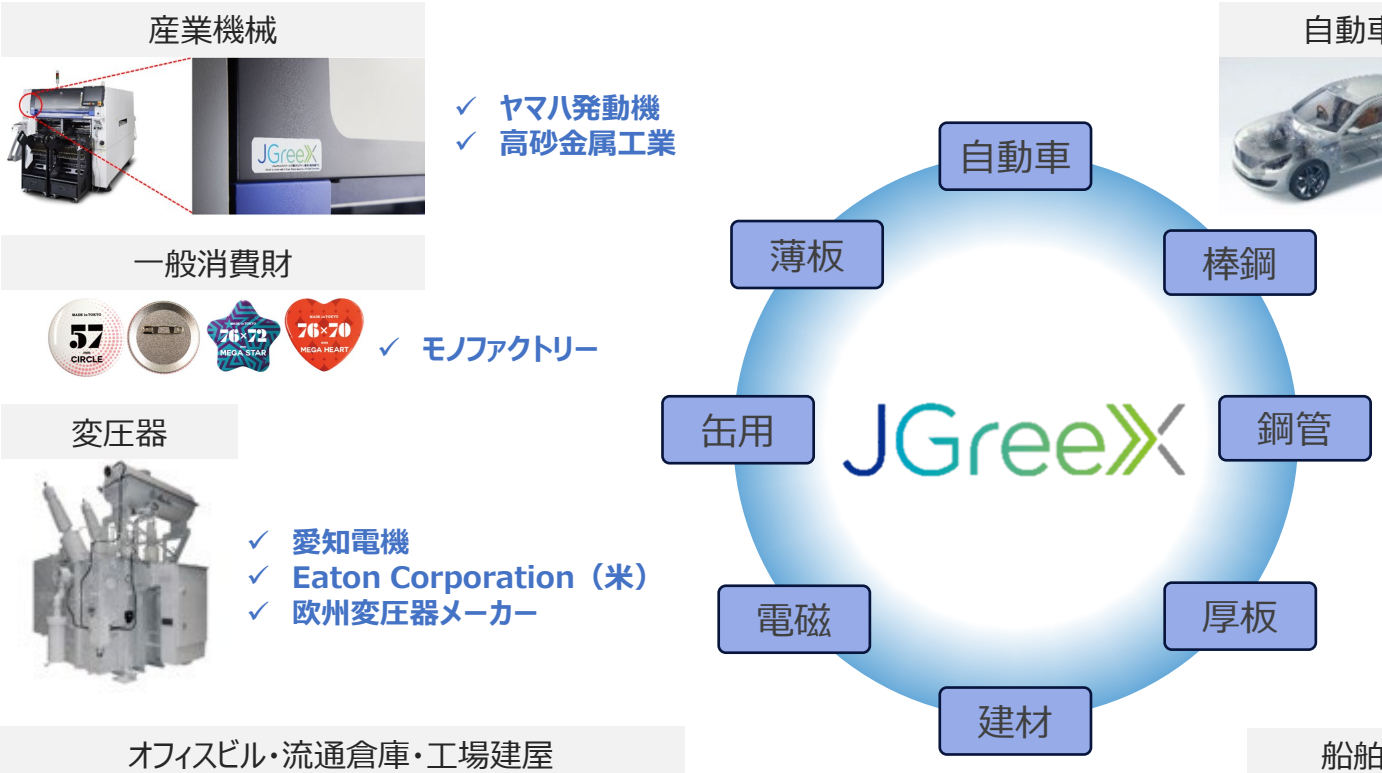
（バンカー: US$/t）



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

GXスチール「JGreeX®」採用状況

- 製造プロセスにおける**GHG排出量を従来の製品より大幅に削減したGXスチール「JGreeX®」**を2023年度上期より供給開始。2024年度においてGXスチール需要喚起により全分野へ採用拡大
- 2025年度の販売量は**KPIを達成（10万トン超）**



産業機械

- ヤマハ発動機
- 高砂金属工業

一般消費財

- モノファクトリー

変圧器

- 愛知電機
- Eaton Corporation（米）
- 欧州変圧器メーカー

自動車

- いすゞ自動車
- トヨタ自動車
- 日産自動車

流通

- 鈴豊精鋼
- Hock Seng Hoe（星）
- Mycron Steel Berhad（馬）
- JFE商事鋼管管材

橋梁



- 横河ブリッジ（岡山県）
- JFEエンジニアリング（横浜市）

オフィスビル・流通倉庫・工場建屋





- 今治造船
- 岩城造船
- 熊谷組
- 住友商事
- 苫小牧栗林運輸
- 日本ファスナー
- 藤木鉄工
- 三菱地所
- 三輪鉄建
- ヤシマナダ
- RN建設
- SUNSCO（越）

船舶

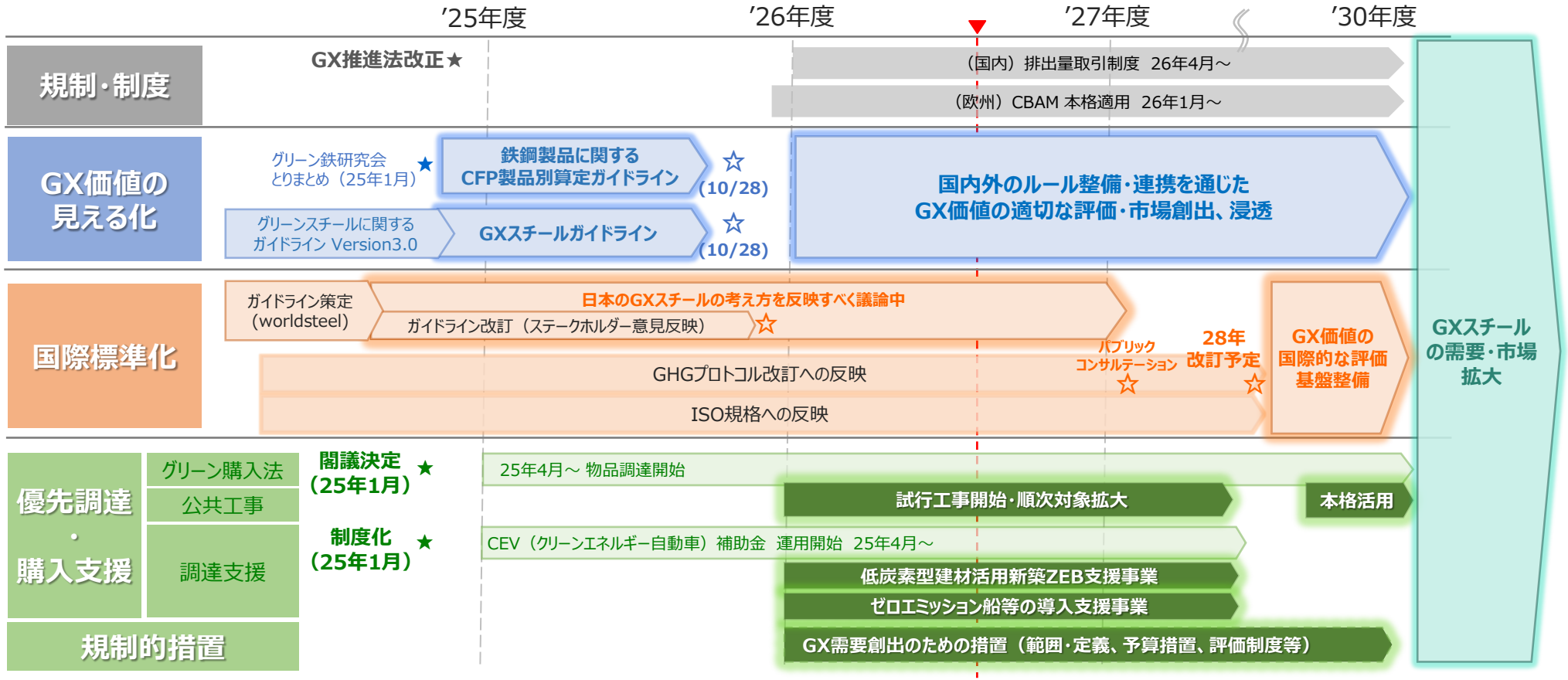


- イースタン・カーライナー
- 川崎汽船・川崎近海汽船
- 商船三井ドライバルク
- 第一中央汽船
- 常石造船
- 東興海運
- NYKバルク・プロジェクト
- 今治造船
- 尾道造船
- 小池造船海運
- 波方造船所
- 檜垣造船

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

GXスチール市場創出に向けた取り組み

- 政府において、**2026年度よりGXスチールを活用した公共工事の試行工事を開始し、**順次対象を拡大するとの方針が明確化されるとともに、**低炭素型建材活用新築ZEB支援事業**や**ゼロエミッション船等の導入支援事業**にて**GXスチールが支援対象**となる等、需要促進策が拡充。また、GXスチールをはじめとする**GX製品の調達を評価する枠組み**が具体化。
- 鉄鋼業界では、**GXスチールの国際的な信頼性確保に向けた国際標準化の取組を継続**するとともに、需要業界と協働して**環境価値の評価やデータ連携に関する課題を解決し、市場の創出、浸透、拡大すべく取り組みを推進**。



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEエンジニアリング　受注内容

- 受注残高は高水準を維持

（億円）

	事業分野	2025年度 実績	2026年度 見通し	増減	2026年度　上期　主な受注内容 ★… 第2四半期 新規・追加受注案件
受注高	Waste to Resource	3,854	2,100	▲1,754	海外廃棄物処理施設 新設工事[インド 2件]
	カーボン ニュートラル	3,217	2,600	▲617	国内ガスエンジン発電設備 長期メンテナンス業務 [愛知] 国内高圧水素パイプライン 建設工事 [神奈川] 国内LNG関連設備 建設工事［★神奈川］ 国内化学プラント 建設工事［★福岡］
	基幹インフラ	1,289	1,300	+11	国内橋梁新設（佐保橋梁 [大阪]） 国内橋梁改築（来島海峡大橋 [愛媛]） 国内アクアパイプライン 更新工事［★兵庫］
	合計	8,361	6,000	▲2,361	
受注残高		12,235	11,700	▲535	

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料④　用語・略語一覧

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料①-1　主な事業・製品用語

主な事業・製品用語は以下のとおりです。

用語・略語	名称	説明
GO	方向性電磁鋼板	変圧器などに使用される、特定方向の磁気特性に優れた電磁鋼板
NO	無方向性電磁鋼板	モーターなどに使用される、方向による磁気特性の差が小さい電磁鋼板
GI	溶融亜鉛めっき鋼板	鋼板表面に亜鉛めっきを施し、耐食性を高めた鋼板
AD	アンチダンピング措置	不当に低い価格で輸入された製品に対し、追加関税などを課す通商措置
JSW	JSW Steel Limited	インドで鉄鋼製品を製造・販売する、JFEスチールの持分法適用会社（JFEスチール出資比率15%）
JJKSL	JSW JFE Kalinga Steel Limited	インドで一貫製鉄所を運営する、JFEスチールとJSW Steelの合弁会社（出資比率50：50）
JJSL	JSW JFE Steel Limited	JJKSLの100%子会社
J2ES	JSW JFE Electrical Steel Private Limited	インドで方向性電磁鋼板を製造・販売する、JFEスチールとJSW Steelの合弁会社（出資比率50：50）
CSI	California Steel Industries, Inc.	米国で鉄鋼製品を製造・販売する、NucorとJFEスチールの合弁会社（出資比率51：49）
WTI	West Texas Intermediate	米国産原油の代表的な価格指標。本資料の原油価格前提に使用

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料①-2　主な財務・業績用語

主な財務・業績用語は以下のとおりです。

用語	説明
EBITDA	事業利益に減価償却費および償却費を加えた指標
Debt/EBITDA倍率	有利子負債残高をEBITDAで除した指標。
D/Eレシオ	有利子負債残高を親会社の所有者に帰属する持分で除した指標
棚卸資産評価差等	原料価格や為替等の変動に伴って生じる、原料・製品等の在庫評価上の損益など
スプレッド	鋼材販売価格と、主原料・金属・エネルギー・資材・物流・労務費等のコストとの差
高付加価値品比率	当社が高付加価値品として設定した対象品種の販売数量が、対象鋼材の販売数量に占める割合

※本ページの説明は、各用語の概要を記載したものです。
　各指標の算定範囲および詳細は、該当ページの注記をご参照ください。

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

参考資料⑤　発行資料（リンク集）

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

発行資料　リンク集

	公表日	資料（日本語版）	資料（英語版）
長期ビジョン・８次中期経営計画	2025/5/8	日本語	英語
環境経営戦略説明会	2025/5/29	日本語	英語
海外事業戦略説明会	2025/8/8	日本語	英語
JFEエンジニアリング　事業説明会	2025/11/25	日本語	英語
インドにおける JSW スチールとの一貫製鉄所合弁事業について	2025/12/4	日本語	英語
DXﾚﾎﾟｰﾄ2025	2026/2/4	日本語	英語
JFEグループレポート 2026（統合報告書）	2026/9/28	日本語	英語
JFEグループ　サステナビリティ報告書2026	2026/9/28	日本語	11月中発行予定
JSW JFE Steel Limitedにおける生産能力拡張の決定について	2026/10/26	日本語	英語

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.